RICOH

RICOH MP 1601/MP 1301シリーズ

使用説明書
〈コピー/ドキュメントボックス〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 原稿の設定

2. 基本的なコピー機能

3. ドキュメントボックス機能

4. コピー/ドキュメントボックス初期設定

1. 原稿の設定

コピーする原稿のサイズや方向を指定する方法を説明します。また、大量の原稿やサイズの異なる原稿をセットする方法も説明します。

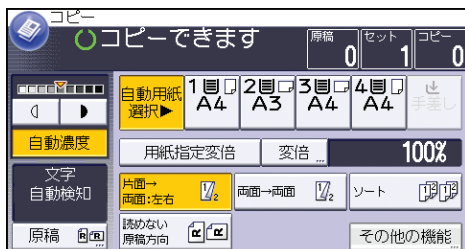
原稿のサイズを指定する

A4 や B4 などの原稿を原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットすると、自動的にサイズが検知されます。そのため原稿サイズを指定する必要はありません。本機で自動検知できる原稿サイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「自動的に検知される原稿サイズ」を参照してください。

自動検知されないサイズの原稿をセットするときは、原稿サイズを指定します。

定形サイズを指定する

読み取る原稿のサイズを定形サイズの中から選択します。

1. ［原稿］を押します。

2. ［原稿サイズ］を押します。
3. ［定形サイズ］を押します。
4. 原稿のサイズを選択します。

5. ［OK］を 2 回押します。

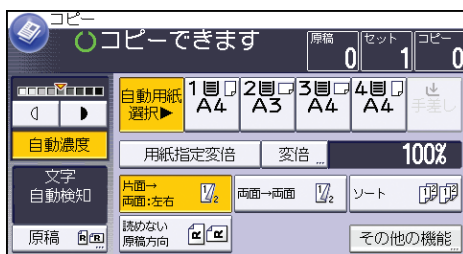
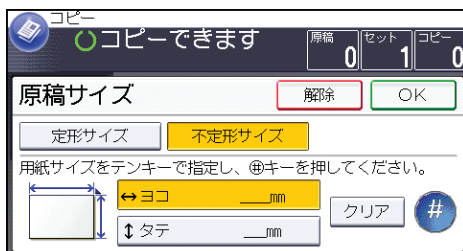
不定形サイズを指定する

読み取る原稿のサイズを数値で指定します。

自動原稿送り装置（ADF）の有無によって、入力できるサイズが異なります。

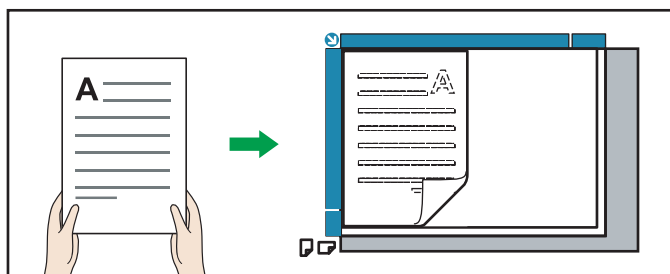
- 自動原稿送り装置（ADF）が装着されているとき：タテ 128～297mm、ヨコ 128～1260mm
- 自動原稿送り装置（ADF）が装着されていないとき：タテ 128～297mm、ヨコ 128～432mm

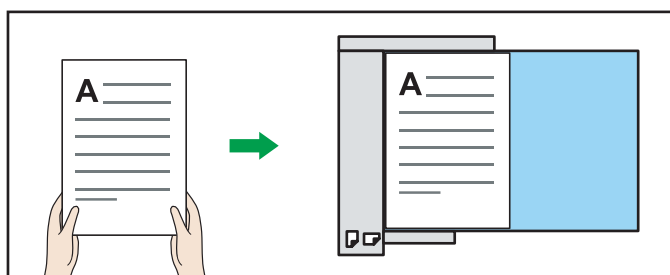
ただし、コピーできる用紙のサイズは、タテ 90.0～305.0mm、ヨコ 148.0～600.0mm です。

1. ［原稿］を押します。

2. ［原稿サイズ］を押します。
3. ［不定形サイズ］を押します。
4. 「ヨコ」のサイズをテンキーで入力し、［#］を押します。

5. 「タテ」のサイズをテンキーで入力し、［#］を押します。
6. ［OK］を 2 回押します。

原稿のセット方向を指定する

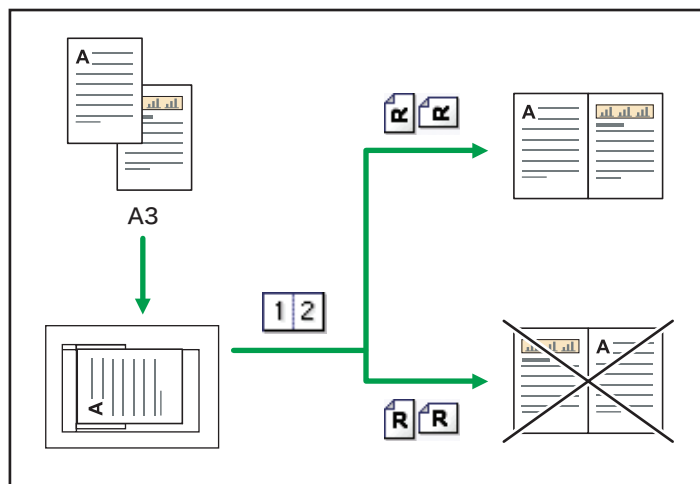
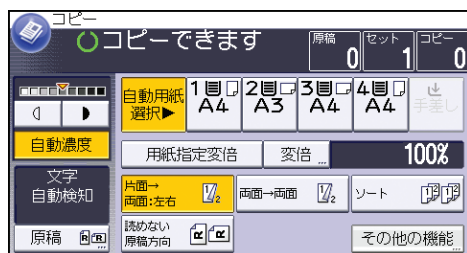
原稿を持ったとき、文字が読める状態（読める方向）のまま、自動原稿送り装置（ADF）にセットします。原稿ガラスにセットするときは、裏返してセットします。

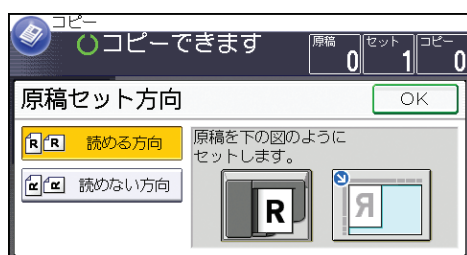
原稿ガラスにセットするとき

CKN002

自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

CKN001

A3や B4の原稿をコピーするときなど、原稿の状態により（読める方向）にセットできないときは、両面コピーや集約などの機能を設定すると思いどおりの結果が得られません。このようなときは「原稿セット方向」を（読めない方向）に変更します。

CTB002

1

1. [原稿] を押します。

2. [原稿セット方向] を押します。

3. 原稿セット方向を選択し、[OK] を 2 回押します。

補足

- 自動用紙選択または用紙指定変倍と組み合わせることをお勧めします。

原稿の種類を選択する

原稿の状態や画質にあった原稿種類を選択します。

原稿種類には次の 5 種類があります。

文字

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。

文字・写真

写真や絵画と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。

写真

写真や絵画原稿に適した設定で読み取ります。

複写原稿

繰り返しコピーした原稿に適した設定で読み取ります。文字の太りやつぶれを抑えてきれいにコピーします。

淡い原稿

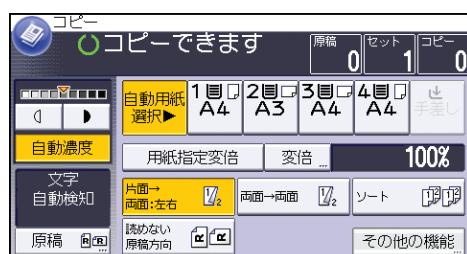
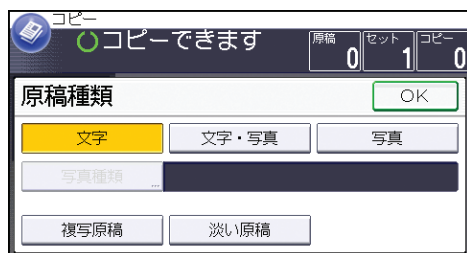
鉛筆書きの原稿や複写伝票の控えなど、濃度の薄い原稿に適した設定で読み取ります。とぎれやすい細い線をきれいにコピーします。

［文字・写真］または［写真］を選択すると、写真の種類を次の 3 種類から選択できます。

- 印画紙写真：プリント（現像）された写真を原稿にするとき
- 印刷写真：雑誌などの印刷された写真を原稿にするとき
- 複写写真：カラーコピーを原稿にするとき

1. ［原稿］を押します。

2. ［原稿種類］を押します。

1

3. 原稿の種類を選択します。

［文字・写真］または［写真］を選択したときは、［写真種類］を押して写真の種類を選択し、［OK］を押してください。

4. ［OK］を 2 回押します。

- ［基本コピー設定］で、優先的に選択される原稿の種類を変更できます。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。

大量の原稿をセットする

自動原稿送り装置（ADF）の上限を超える枚数の原稿をまとめてコピーするときは、[大量原稿] を選択します。原稿を数回に分けてセットしても、1 セットの原稿としてコピーできます。

使用しているモデルによってはオプションが必要です。必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

重要

- **トレーシングペーパー（第二原図用紙）などの特殊な原稿をセットするときは、1 枚ずつセットしてください。**

自動原稿送り装置（ADF）にセットできる枚数の上限は 120 枚です。

1. [原稿] を押します。

2. [大量原稿] を押し、[OK] を押します。

3. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

4. 先にセットした原稿がすべて送られてから、次の原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

原稿を複数回に分けてセットするときは、手順 4 を繰り返します。

補足

- ソート、集約や片面→両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら [#] キーを押します。
- 大量原稿機能の途中での片面原稿と両面原稿の変更はできません。
- [大量原稿] のかわりに [SADF] が表示されているときは、[周辺設定] の [大量原稿モード切り替え] で設定を変更します。詳しくは、P.89「周辺設定」を参照してください。

原稿を 1 枚ずつ送る

SADF を使用すると、自動原稿送り装置（ADF）に原稿を 1 枚ずつセットしたときでも、原稿をセットするたびに自動的に原稿が送られます。

使用しているモデルによってはオプションが必要です。必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

1. ［原稿］を押します。

2. ［SADF］を押し、［OK］を押します。
3. 原稿を 1 枚セットし、［スタート］キーを押します。
4. 画面に「追加原稿をセットしてください。」というメッセージが表示されているときに次の原稿をセットします。

   2 枚目からは［スタート］キーを押さなくても自動的に原稿が送られます。

補足

- ソート、集約や片面→両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら［#］キーを押します。
- SADF 機能の途中での片面原稿と両面原稿の変更はできません。
- ［SADF］のかわりに［大量原稿］が表示されているときは、［周辺設定］の［大量原稿モード切り替え］で設定を変更します。詳しくは、P.89「周辺設定」を参照してください。
- SADF が自動的にリセットされる時間を、［周辺設定］の［SADF オートリセット時間設定］で変更できます。詳しくは、P.89「周辺設定」を参照してください。

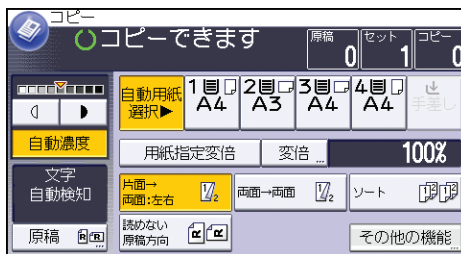
サイズの異なる原稿をセットする

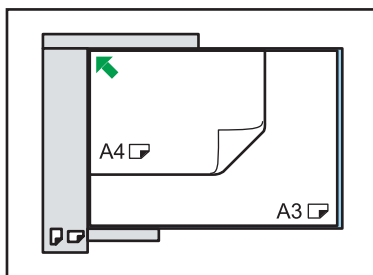
サイズの異なる原稿を自動原稿送り装置（ADF）に一度にセットしてコピーします。

使用しているモデルによってはオプションが必要です。必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

重要

- サイズ混載を設定しないで、異なるサイズの原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットしてコピーすると、用紙がつまることや、画像の一部がコピーされないことなどがあります。

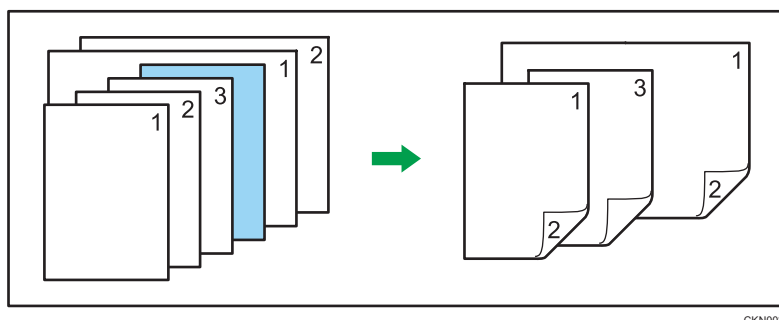
1. ［原稿］を押します。

2. ［▼］を押します。
3. ［サイズ混載］を押し、［OK］を押します。
4. 原稿ガイドを大きい原稿サイズに合わせます。
5. 原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットします。

   原稿の左側と奥の 2 辺をそろえます。

6. ［スタート］キーを押します。

補足

- サイズが大きい原稿に合わせて原稿ガイドをセットしているため、サイズの小さい原稿はやや斜めにコピーされることがあります。
- 一度にセットできる原稿サイズは 2 種類までです。
- 印刷速度または読み取り速度は遅くなります。

1

- 片面→両面機能と組み合わせるときは、サイズごとの原稿枚数を偶数にしてください。奇数枚のときは白紙を挿入して調整してください。

- サイズ混載でセットできる原稿サイズと紙厚については、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる原稿サイズと紙厚」を参照してください。

2. 基本的なコピー機能

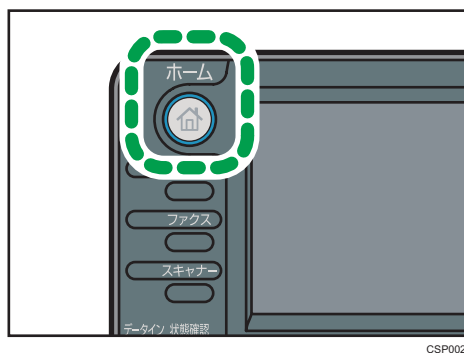
基本的なコピーの機能について説明します。

基本的なコピーのとりかた

原稿を原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットしてコピーします。

原稿を原稿ガラスにセットするときは、先頭ページから順にセットします。自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、先頭ページを上にしてセットします。原稿を原稿ガラスにセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「原稿ガラスにセットする」を参照してください。原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「自動原稿送り装置（ADF）にセットする」を参照してください。

普通紙以外の用紙にコピーするときは、使用する紙の厚さに応じて［用紙設定］で用紙の種類を設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

1. **操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［コピー］アイコンを押します。**

2. **コピーする枚数など前の設定が残っていないことを確認します。**

   前の設定が残っているときは［リセット］キーを押します。

3. **原稿をセットします。**
4. **必要に応じて、用紙サイズ、原稿セット方向、その他の機能を設定します。**
5. **テンキーでコピーする枚数を入力します。**

   入力できるコピー枚数は999枚までです。

6. **［スタート］キーを押します。**

   原稿ガラスに原稿をセットしたときや、大量原稿モードなどの機能を選択して、自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときは、すべての原稿の読み取り終了後に［#］キーを押します。画面に表示されるメッセージにしたがってください。

7. **コピー終了後は［リセット］キーを押して、設定を解除します。**

補足

- ユーザー認証が設定されているときはログイン画面が表示されます。本機にログインしてから操作してください。ログイン方法は、『本機のご利用にあたって』「ログイン画面が表示されたとき」を参照してください。また、ログインして操作したあとは、ほかの利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。
- コピーを中止するときは、[ストップ] キーを押します。
- 設定したコピー機能をすべて取り消して、電源を入れた状態に戻すときは、[リセット] キーを押します。
- コピー初期画面に表示されるキーの説明については、『本機のご利用にあたって』「コピー機能の画面の見かた」を参照してください。
- カラー用 OHP 用紙は使用しないでください。
- [基本コピー設定] の [コピーセット枚数制限設定] で、セットできるコピー枚数の上限を設定できます。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。

組み合わせできる機能

コピー機能では、組み合わせできる機能とできない機能があります。組み合わせできない機能を選択したときは、選んだ順番によって有効になる機能が変わります。組み合わせできる機能については、P.17「機能組み合わせ一覧」を参照してください。

機能組み合わせ一覧

機能組み合わせ一覧

表で使用している記号の意味は、次のとおりです。
空欄：組み合わせ可
×　：組み合わせ不可（先に設定した機能が優先）
●　：組み合わせ不可（あとから設定した機能が優先）

	機能名	あとから設定する機能																							
	機能名	サイズ混載	定形原稿	不定形原稿	原稿方向（読める向き）	原稿方向（読めない向き）	自動濃度	手動濃度	自動用紙選択	手動用紙選択	手差しコピー	用紙指定変倍	変倍	すこし小さめ	原稿：見開き	原稿：両面	両面	集約	見開き→両面	見開き→両面（見開き）	IDカードコピー	とじしろ	ソート	回転ソート	文書蓄積
先に設定した機能	サイズ混載	＼	×	×																					
	定形原稿	×	＼	●					×																
	不定形原稿	×	●	＼					×																
	原稿方向（読める向き）				＼	●																			
	原稿方向(読めない向き)				●	＼									×				×	×					
	自動濃度						＼																		
	手動濃度							＼																	
	自動用紙選択		●	●					＼	●	●	●									●				
	手動用紙選択								●	＼	●														
	手差しコピー								●	●	＼	●		×			●	●	●	●				×	×
	用紙指定変倍								●		×	＼	●								●				
	変倍											●	＼												
	すこし小さめ										×			＼							×				
	原稿：見開き					×									＼	●		●			×				
	原稿：両面														●	＼					×				
	両面										×						＼	●	●	●	×				
	集約										×				●		●	＼	●	●	×				
	見開き→両面					×					×						●	●	＼	●	×				
	見開き→両面（見開き）					×					×						●	●	●	＼	×				×
	ID カードコピー								×			×		×	×	×	×	×	×	×	＼				
	とじしろ																					＼			
	ソート																						＼	●	
	回転ソート										×												●	＼	
	文書蓄積										×									×					＼

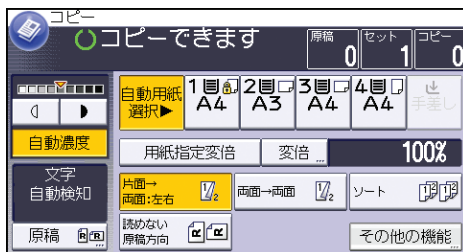
CTB001

用紙サイズを指定しないでコピーする

セットされた原稿のサイズを読み取り、自動的に倍率に合った用紙を選択します。

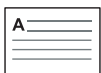
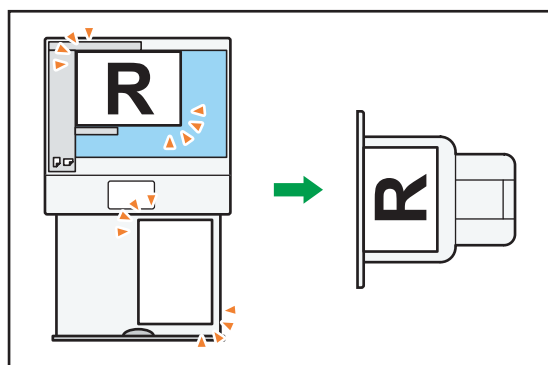
自動用紙選択できる原稿サイズ、方向は次のとおりです。（等倍のとき）

原稿セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3、B4、A4、B5、A5
自動原稿送り装置（ADF）	A3、B4、A4、B5、A5、B6、11×17、8$^{1}/_{2}$×11

1. ［自動用紙選択］が選択されていることを確認します。

2. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- ［用紙設定］の「用紙種類」を［普通紙］または［再生紙］に設定し、「自動用紙選択の対象」を［対象］に設定した給紙トレイだけが自動用紙選択の対象です。錠のマーク（）が付いているトレイは自動的に選択されません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

回転コピー

セットした原稿と給紙トレイにセットされている用紙の方向が異なるときでも、用紙の方向に合わせて自動的に画像を 90 度回転してコピーします。この動作を回転コピーと呼びます。回転コピーは、［自動用紙選択］または［用紙指定変倍］を選択しているときに有効な機能です。詳しくは、P.18「用紙サイズを指定しないでコピーする」または P.31「用紙指定変倍」を参照してください。

CKN023

原稿を B4 または A3 サイズの用紙に拡大するとき、回転コピーはできません。B4 または A3 サイズの用紙に拡大するときは、原稿を方向にセットしてください。

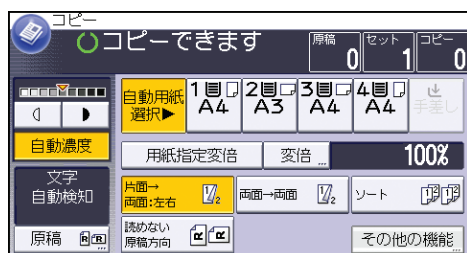
	原稿		用紙
回転コピーできないとき	A4、B5、または A5	拡大 →	B4 または A3
原稿のセット方向を変更すると、拡大できます	A4、B5、または A5	拡大 →	B4 または A3

補足

- ［基本コピー設定］の［リミットレス給紙］は、工場出荷時に［回転可能で動作］に設定されています。［回転不可で動作］または［しない］に変更すると、回転コピーはできません。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。

用紙サイズを指定してコピーする

サイズが読み取りにくい原稿をコピーするときは、用紙サイズを選択してください。コピーする用紙を、給紙トレイまたは手差しトレイから選択します。

1. 使用する用紙がセットされているトレイを選択します。

2. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

手差しトレイからコピーする

給紙トレイにセットできないサイズの用紙以外に、はがき、OHP フィルム、ラベル紙（ハクリ紙）などにコピーできます。

手差しトレイに用紙をセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「手差しトレイに用紙をセットする」を参照してください。

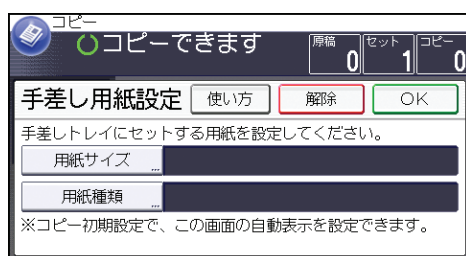
重要

- **手差しトレイにセットした用紙には両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右] を押して設定を解除してください。初期設定を変更することもできます。変更方法は、『便利な機能』「初期画面に表示される機能を変更する」を参照してください。**

手差しトレイの「用紙種類」に表示されない種類の用紙や、厚さが 82〜105g/m^2（70〜90kg）の用紙にコピーするときは、[用紙設定] で用紙の種類をあらかじめ設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

75〜81g/m^2（64〜70kg）の用紙にコピーするときは、[普通紙設定] で設定を変更してください。詳しくは、『用紙の仕様とセット方法』「普通紙設定」を参照してください。

手差しトレイの使いかた

「手差し用紙設定」画面で [使い方] を押すと、原稿や用紙のセット方向についての説明が表示されます。

1. **コピーする面を下にして、手差しトレイに用紙をセットします。**

   自動的に [手差し] が選択されます。

2. **[#] キーを押します。**
3. **[用紙サイズ] を押します。**
4. **用紙のサイズを設定し、[OK] を押します。**
5. **[用紙種類] を押します。**
6. **必要に応じて用紙の種類を設定し、[OK] を 2 回押します。**
7. **原稿をセットし、[スタート] キーを押します。**
8. **コピー終了後は [リセット] キーを押して、設定を解除します。**

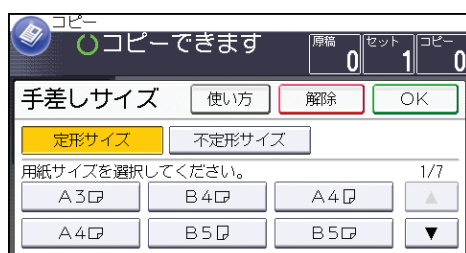
補足

- ［手差し選択時の用紙設定画面表示］を［自動表示する］に設定すると、［#］キーの代わりに［手差し］を押しても、「手差し用紙設定」画面を開くことができます。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。
- 手差しトレイが自動的に選択されないときは、［手差し］を押してください。

手差しトレイから定形サイズの用紙にコピーする

1. **コピーする面を下にして、手差しトレイに用紙をセットします。**

   自動的に［手差し］が選択されます。

2. **［#］キーを押します。**
3. **［用紙サイズ］を押します。**
4. **用紙のサイズを選択します。**

5. **［OK］を 2 回押します。**
6. **原稿をセットし、［スタート］キーを押します。**

補足

- 手差しトレイにセットできる用紙サイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

手差しトレイから不定形サイズの用紙にコピーする

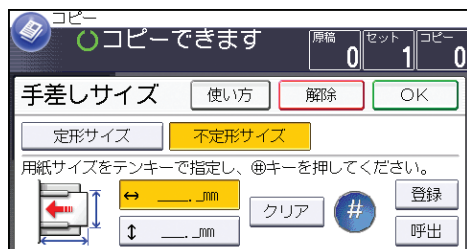
手差しコピーできる用紙サイズはタテ 90.0～305.0mm、ヨコ 148.0～600.0mm です。ただし使用している機器のオプション構成や排紙先の設定によって、手差しコピーできる用紙サイズは異なります。

- 本体上トレイに出力するとき：タテ 100.0～305.0mm、ヨコ 148.0～460.0mm

1. **コピーする面を下にして、手差しトレイに用紙をセットします。**

   自動的に［手差し］が選択されます。

2. **［#］キーを押します。**

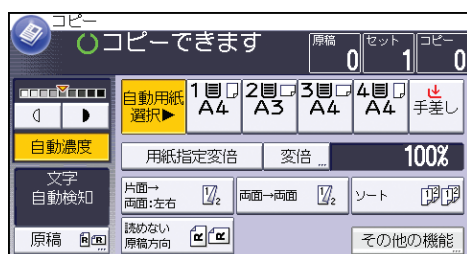
3. [用紙サイズ] を押します。
4. [不定形サイズ] を押します。
5. 「ヨコ」の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。

6. 「タテ」の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。
8. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- 不定形サイズを登録できます。詳しくは、P.23「不定形サイズを登録する」を参照してください。また、登録した不定形サイズを呼び出すこともできます。詳しくは、P.24「不定形サイズを呼び出す」を参照してください。

不定形サイズを登録する

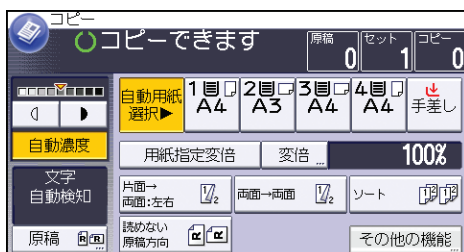
頻繁に使用する不定形用紙のサイズを登録できます。登録できる不定形サイズは 1 件です。

1. 用紙選択の [手差し] を押します。

2. [用紙サイズ] を押します。
3. [不定形サイズ] を押します。
4. 「ヨコ」の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。
5. 「タテ」の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。
6. [登録] を押します。
7. [確認] を押します。

8. [OK] を 2 回押します。

不定形サイズを呼び出す

あらかじめ登録した不定形用紙のサイズを画面に表示します。

1. 用紙選択の [手差し] を押します。

2. [用紙サイズ] を押します。

3. [不定形サイズ] を押します。

4. [呼出] を押します。

5. [OK] を 2 回押します。

さまざまな用紙にコピーする

はがき、OHP フィルム、厚紙など、さまざまな用紙にコピーできます。このような用紙にコピーするときは、用紙の種類とサイズを設定します。

補足

- 複数枚を一度にセットするときは、用紙づまりを防止するためにパラパラとほぐしてからセットします。用紙づまりが起きたときは、用紙を 1 枚ずつセットします。

薄紙にコピーする

重要

- 薄紙には両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右］を押して設定を解除してください。

使用する用紙の紙厚が 52～59g/m^2（45～51kg）のときは、［薄紙］を選択してください。

1. **コピーする面を下にして、手差しトレイに用紙をセットします。**

   自動的に［手差し］が選択されます。

2. **[#］キーを押します。**
3. **[用紙サイズ］を押します。**
4. **用紙のサイズを設定し、[OK］を押します。**
5. **[用紙種類］を押します。**
6. **[薄紙］を押し、[OK］を 2 回押します。**
7. **原稿をセットし、[スタート］キーを押します。**

厚紙にコピーする

重要

- 厚紙には両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右］を押して設定を解除してください。

使用する用紙の紙厚が 106～162g/m^2（91～139kg）のときは、［厚紙］を選択してください。

1. **コピーする面を下にして、手差しトレイに用紙をセットします。**

   自動的に［手差し］が選択されます。

2. **[#］キーを押します。**

3. [用紙サイズ] を押します。
4. 用紙のサイズを設定し、[OK] を押します。
5. [用紙種類] を押します。
6. [厚紙] を押し、[OK] を 2 回押します。
7. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

OHP フィルムにコピーする

重要

- OHP フィルムはコピー面が決まっています。コピー面を確認してセットしてください。
- OHP フィルムには両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右] を押して設定を解除してください。

1. コピーする面を下にして、手差しトレイに OHP フィルムをセットします。

   自動的に [手差し] が選択されます。
2. [#] キーを押します。
3. [用紙サイズ] を押します。
4. 用紙のサイズを設定し、[OK] を押します。
5. [用紙種類] を押します。
6. [OHP] を押し、[OK] を 2 回押します。
7. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- OHP フィルムにコピーするときは、排出されたコピーを 1 枚ずつ取り除いてください。
- 使用できる OHP フィルムのサイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「使用できる用紙サイズ、種類」を参照してください。

はがきにコピーする

はがきにコピーするときは、原稿を原稿ガラスにセットし、はがきを手差しトレイにセットします。

はがきの取り扱い、はがきをセットする方法、原稿とはがきのセット方向については、『用紙の仕様とセット方法』「はがき」を参照してください。

重要

- **郵便はがき、往復はがきには両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右]を押して設定を解除してください。**

1. コピーする面を下にして、手差しトレイにはがきをセットします。

自動的に[手差し]が選択されます。

2. [#]キーを押します。

3. [用紙サイズ]を押します。

4. [郵便ハガキ▭]または[往復ハガキ▭]を選択し、[OK]を押します。

5. [用紙種類]を押します。

6. 用紙の種類を選択し、[OK]を2回押します。

7. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

封筒にコピーする

定形サイズまたは不定形サイズの封筒にコピーします。封筒にコピーするときは、原稿を原稿ガラスにセットし、封筒を手差しトレイにセットします。

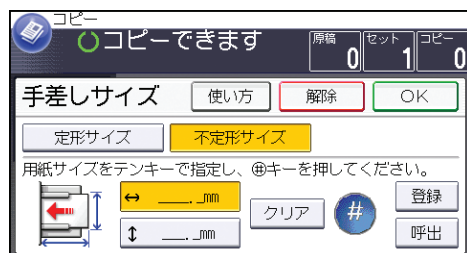
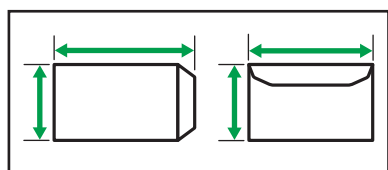
使用する封筒の用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定の用紙厚さや使用できる封筒のサイズについては、『用紙の仕様とセット方法』「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

封筒の取り扱い、使用できる封筒、封筒をセットする方法は、『用紙の仕様とセット方法』「封筒」を参照してください。

封筒にコピーするときは、[用紙設定]で手差しトレイの用紙種類に[封筒]を選択してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

重要

- **封筒には両面コピーできません。両面コピーが設定されているときは、[片面→両面：左右]を押して設定を解除してください。**

不定形サイズの封筒にコピーするときは、封筒のサイズを指定します。対応する長さを、それぞれ入力してください。

↔：ヨコ

↕：タテ

フラップを開いてセットするときは、フラップを開いた状態でヨコの長さを測ってください。

1. **コピーする面を下にして、手差しトレイに封筒をセットします。**

   自動的に［手差し］が選択されます。

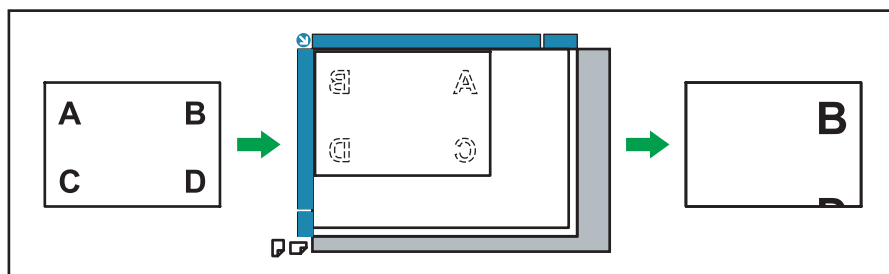
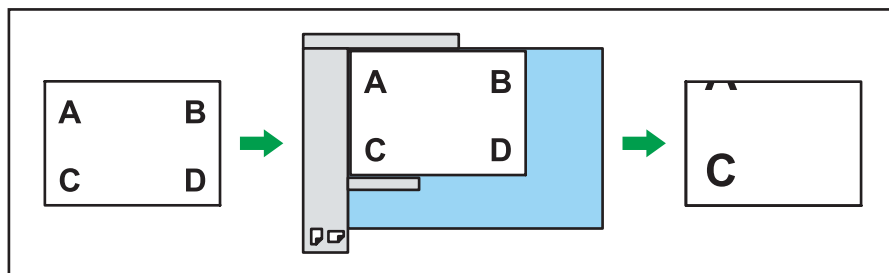
2. **［#］キーを押します。**
3. **［用紙サイズ］を押します。**
4. **封筒のサイズを設定し、［OK］を 2 回押します。**
5. **原稿をセットし、［スタート］キーを押します。**

拡大・縮小してコピーする

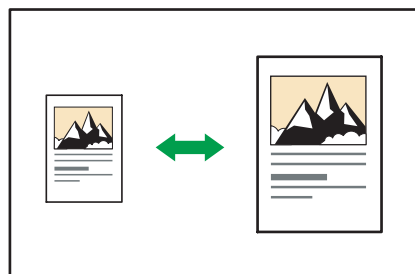
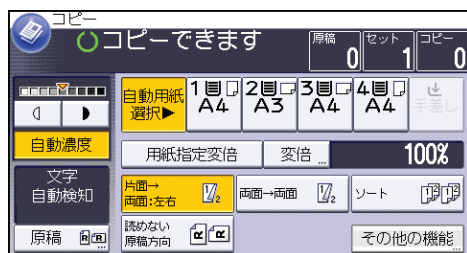
倍率を指定する方法と、用紙サイズを指定する方法を説明します。

基点について

拡大・縮小の基点は、原稿の読み取らせかたによって異なります。原稿ガラスにセットしたときは、左奥の「セット基準」に接するところが基点です。自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときは、原稿の左手前が基点です。

- 原稿ガラスにセットするとき

- 自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

定形変倍

あらかじめ設定されている倍率を選択し、画像を拡大または縮小してコピーします。

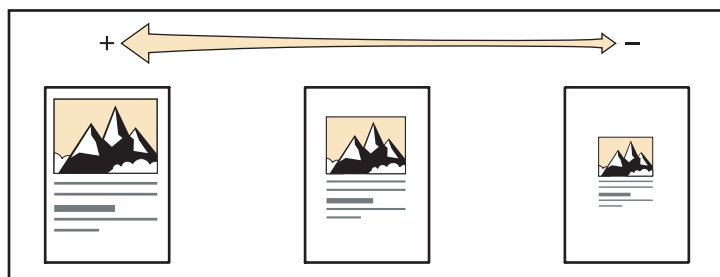
2

1. ［変倍］を押します。

2. 倍率を選択し、［OK］を押します。

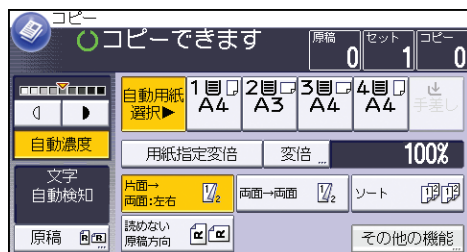
3. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

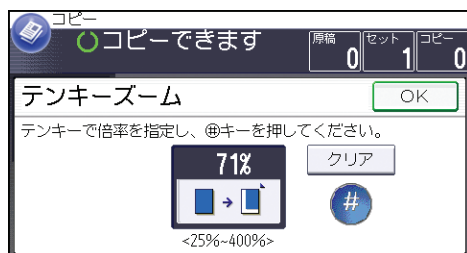
補足

- 倍率の範囲は 25〜400％です。
- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。
- 拡大・縮小の基点については、P.29「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。
- ［変倍率設定］で画面に表示される変倍率を変更できます。詳しくは、P.85「変倍率設定」を参照してください。

ズーム

1％刻みで拡大または縮小してコピーします。

倍率をテンキーで指定する方法と、[+][−]で指定する方法があります。ここではテンキーで指定する方法を説明します。

1. [変倍]を押します。

2. [テンキーズーム]を押します。

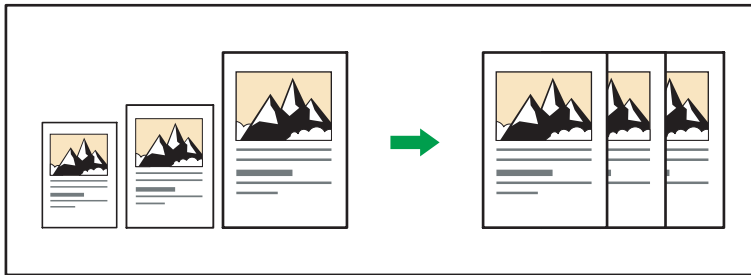
3. テンキーで倍率を入力し、[#]を押します。

4. [OK]を 2 回押します。

5. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

補足

- [+][−]で指定するときは、[変倍]を押したあと設定する倍率に近い倍率を選択します。[+]または[−]を押すと倍率が 1%ずつ変わります。押し続けると 10%ずつ変わります。
- 倍率の範囲は 25〜400%です。
- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けることや、余白ができることがあります。
- 拡大・縮小の基点については、P.29「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

用紙指定変倍

原稿のサイズを自動的に検知し、指定した用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小コピーします。

重要

- 手差しコピーはできません。
- ［用紙指定変倍］を押したあとに変倍率を設定すると、用紙指定変倍機能は解除され、画像は回転されません。

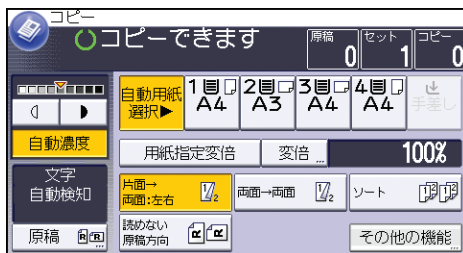
用紙指定変倍は、異なる大きさの原稿を同じ大きさの用紙にコピーするときに便利です。

また、原稿の方向と用紙の方向が異なるときは、自動的に画像を回転してコピーします（回転コピー）。

たとえば、A3原稿を A4に縮小するときは、［用紙指定変倍］を押し、A4がセットされているトレイを選択すると、自動的に画像が回転して縮小されます。回転コピーについては、P.18「回転コピー」を参照してください。

用紙指定変倍できる原稿のサイズ、方向は次のとおりです。

原稿セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3、B4、A4、B5、A5
自動原稿送り装置（ADF）	A3、B4、A4、B5、A5、B6、11×17、8 $^1/_2$×11

1. ［用紙指定変倍］を押します。

2. 使用する用紙がセットされているトレイを選択します。
3. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 倍率の範囲は 25～400％です。

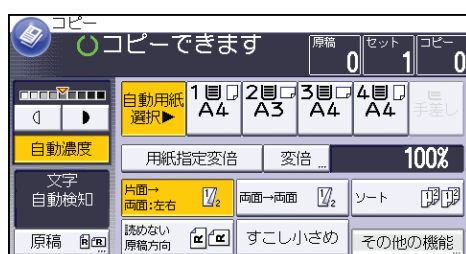
- 拡大・縮小の基点については、P.29「拡大・縮小してコピーする」を参照してください。

すこし小さめ

画像を 93%縮小し、用紙の中央にコピーします。

拡大または縮小と組み合わせると、設定した倍率をさらに 93%に縮小するため、余白を増やせます。

あらかじめ、[基本コピー設定] の [登録機能：コピー] で [すこし小さめ] を登録してください。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。

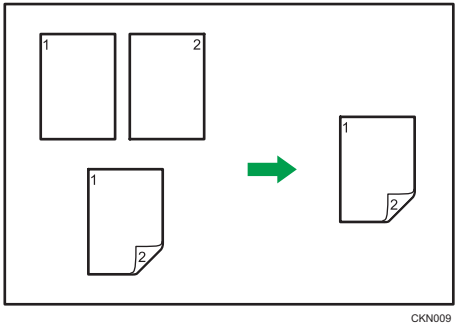
1. [すこし小さめ] を押します。

2. 必要に応じて、組み合わせる変倍率を選択します。
3. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- 変倍率設定の [すこし小さめ変倍率設定] で、変倍率を変更できます。詳しくは、P.85「変倍率設定」を参照してください。

2

両面にコピーする

2 枚の片面原稿または 1 枚の両面原稿を、用紙の両面にコピーします。両面コピーでは、とじしろ分だけ画像が移動します。

重要

- **手差しコピーはできません。**

両面コピーには次の 2 種類があります。

片面→両面

2 枚の片面原稿を用紙の両面にコピーします。

両面→両面

両面原稿を用紙の両面にコピーします。

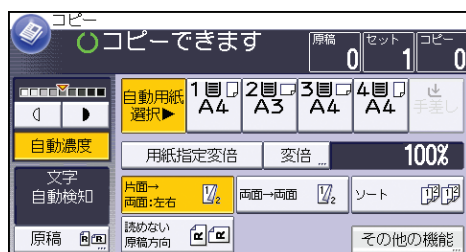
タテ長の原稿とヨコ長の原稿では、原稿のセット方向によってコピーの結果が異なります。

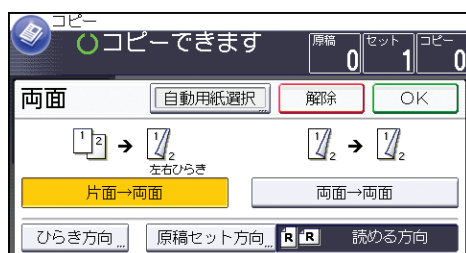
原稿のセット方向とコピー結果

両面コピーをするときは、セットする原稿に合わせて原稿セット方向や原稿のひらき方向を設定します。また、希望の仕上がり状態に合わせてコピーのひらき方向を設定します。

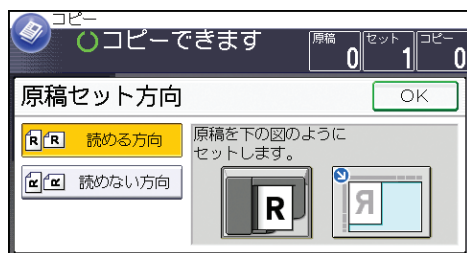
原稿	セットする原稿の向き	原稿セット方向	ひらき方向	コピー
			左右ひらき	
			上下ひらき	

原稿	セットする原稿の向き	原稿セット方向	ひらき方向	コピー
			左右ひらき	
			上下ひらき	

1. ［その他の機能］を押します。

2. ［両面］を押します。
3. 原稿の状態に合わせ、［片面→両面］または［両面→両面］を選択します。

原稿またはコピーのひらき方向を変更するときは、［ひらき方向］を押します。

4. ［OK］を 2 回押します。
5. ［原稿］を押します。
6. ［原稿セット方向］を押します。

2

7. 原稿セット方向を選択し、[OK]を 2 回押します。

8. 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

補足

- 次の用紙には両面コピーできません。
    - トレーシングペーパー（第二原図用紙）
    - ラベル紙（ハクリ紙）
    - OHP フィルム
    - はがき
    - 封筒
    - 厚紙
    - 薄紙
- 自動原稿送り装置（ADF）に奇数枚の原稿をセットしたときは、最後にコピーされた用紙の片面は白紙のままです。
- [片面→両面]、[両面→両面]は登録機能キーを押しても選択できます。そのときは手順 5 に進みます。
- 両面コピーできる用紙のサイズ、方向、紙厚については、『保守/仕様』「本体仕様」を参照してください。
- 両面コピーのとじしろ幅を[基本編集設定]で変更できます。詳しくは、P.86「基本編集設定」を参照してください。

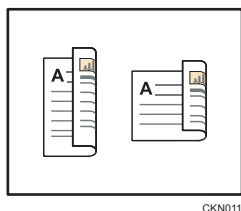
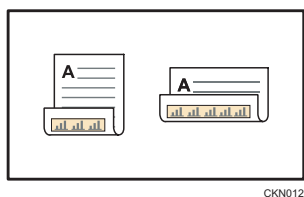
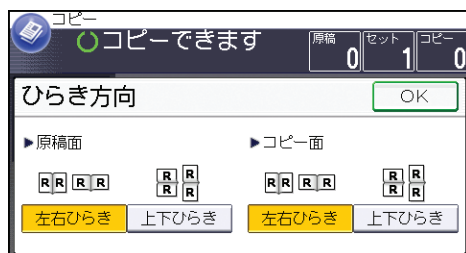
ひらき方向を変更する

原稿が両面のときや、用紙の両面にコピーするときは、原稿とコピーそれぞれのひらき方向を選択します。

左右ひらき

CKN011

上下ひらき

CKN012

1. [ひらき方向] を押します。
2. 原稿が両面のときは、「原稿面」で [左右ひらき] または [上下ひらき] を選択します。

3. 「コピー面」で [左右ひらき] または [上下ひらき] を選択します。
4. [OK] を押します。

- 工場出荷時は、[左右ひらき] が選択されています。[基本コピー設定] の [両面原稿ひらき方向設定] と [両面コピーひらき方向設定] でひらき方向を変更できます。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。

1 枚にまとめてコピーする

用紙サイズと集約数に合わせて自動的に倍率を設定し、1 枚の用紙にコピーします。

設定される倍率は 25～400%です。原稿の方向と用紙の方向が一致しないときは、自動的に画像を 90 度回転してコピーします。

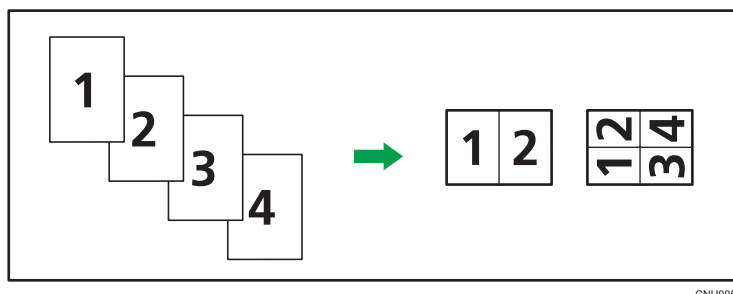
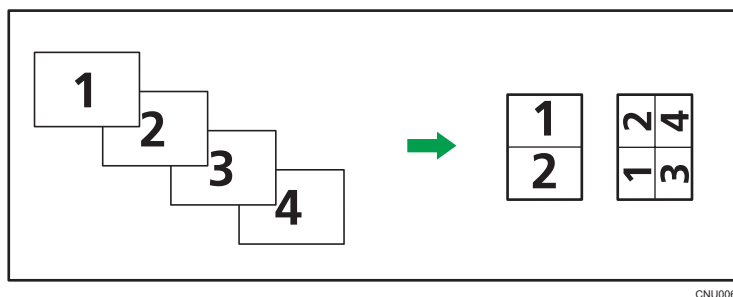
原稿の方向と集約の画像位置

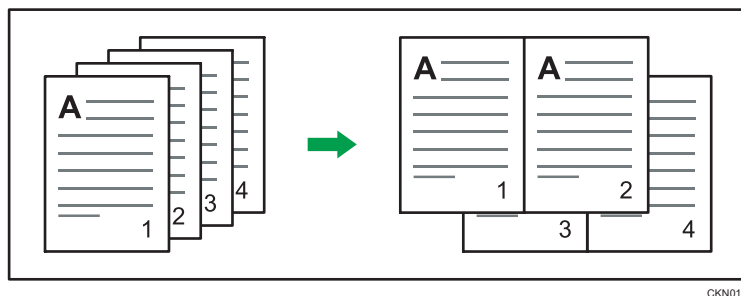
集約したときの画像位置は、原稿の方向と集約する枚数によって異なります。

- タテ長（▯）原稿のとき

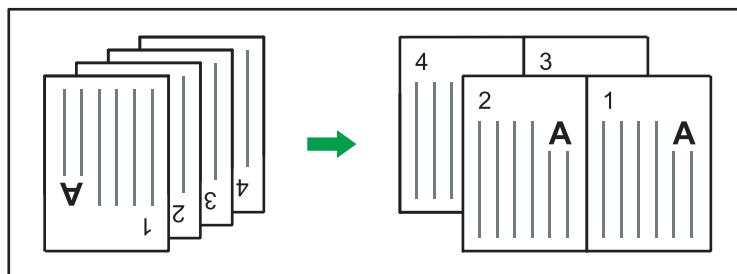
CNU005

- ヨコ長（▭）原稿のとき

CNU006

原稿のセット方向とコピー結果

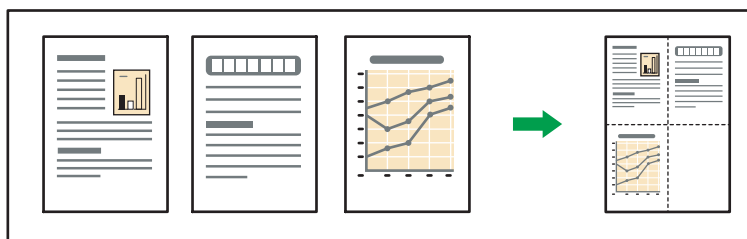
自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットして集約するときは、縦書きか横書きかによって、原稿をセットする方向が異なります。縦書き原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットするときは、原稿の上下を逆にしてセットします。

- 横書き原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

CKN010

• 縦書き原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットするとき

補足

• 原稿面で［両面］、またはコピー面で［両面集約］を選択したときは、［ひらき方向］でひらき方向を設定できます。詳しくは、P.36「ひらき方向を変更する」を参照してください。

• 計算された縮小率が指定できる最小倍率以下のときは、最小倍率に補正されます。このとき画像が欠けることがあります。

• 原稿枚数が設定した集約数より少ないときは、次のように空白でコピーされます。

• 集約したときの画像の並び順を、［基本編集設定］の［集約時並び順］で変更できます。詳しくは、P.86「基本編集設定」を参照してください。

• 仕切り線の種類を、［基本編集設定］の［集約コピー：仕切り線種類］で変更できます。詳しくは、P.86「基本編集設定」を参照してください。

• 原稿の周辺 3mm を消去して集約コピーできます。設定は［基本編集設定］の［集約コピー時枠消去］で変更します。詳しくは、P.86「基本編集設定」を参照してください。

片面集約

複数枚の原稿を用紙の片面 1 枚にまとめてコピーします。

重要

- 手差しコピーはできません。

片面集約には次の 4 種類があります。

片面 2 枚→片面 1 枚

2 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

片面 4 枚→片面 1 枚

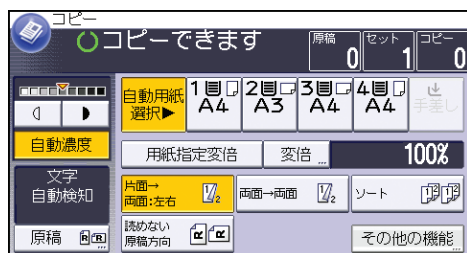
4 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

両面 2 ページ→片面 1 枚

2 ページ分の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

両面 4 ページ→片面 1 枚

4 ページ分の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

1. ［その他の機能］を押します。

2. ［集約］を押します。

3. 原稿の状態に合わせ、［片面］または［両面］を選択します。

［両面］を選択したときは、ひらき方向を設定できます。

［原稿セット方向］を押すと、原稿の方向が読める方向か読めない方向かを設定できます。

4. [片面集約] を押します。

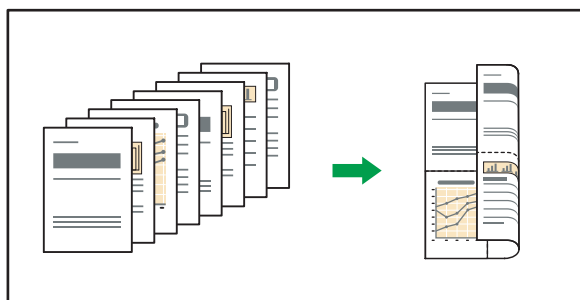
5. 何ページの原稿をまとめるか選択します。

6. [OK] を 2 回押します。

7. 用紙を選択します。

8. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

両面集約

複数枚の原稿を用紙の両面 1 枚にまとめてコピーします。

重要

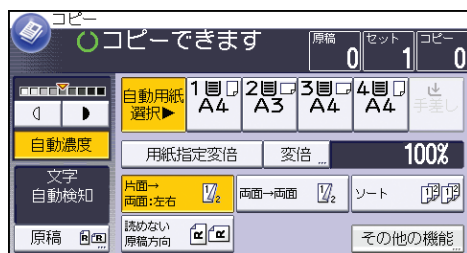
- 手差しコピーはできません。

両面集約には、次の 4 種類があります。

片面 4 枚→両面 1 枚

4 枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

片面 8 枚→両面 1 枚

8 枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

両面 4 ページ→両面 1 枚

4 ページ分の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

両面 8 ページ→両面 1 枚

8 ページ分の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

2

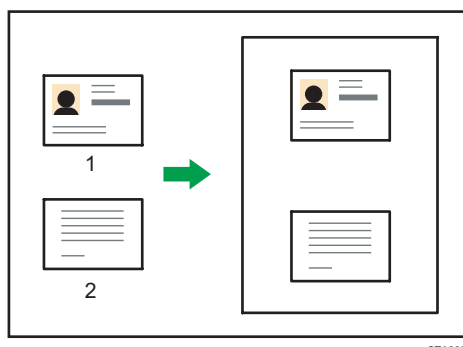
1. [その他の機能] を押します。

2. [集約] を押します。
3. 原稿の状態に合わせ、[片面] または [両面] を選択します。

   [原稿セット方向] を押すと、原稿の方向が読める方向か読めない方向かを設定できます。

4. [両面集約] を押します。
5. [ひらき方向] を押します。
6. 原稿面やコピー面で、[左右ひらき] または [上下ひらき] を選択し、[OK] を押します。
7. 何ページの原稿をまとめるか選択します。
8. [OK] を 2 回押します。
9. 用紙を選択します。
10. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

ID カードコピー

ID カードのような、小さな原稿のおもて面とうら面を用紙の片面にコピーします。

1. おもて面
2. うら面

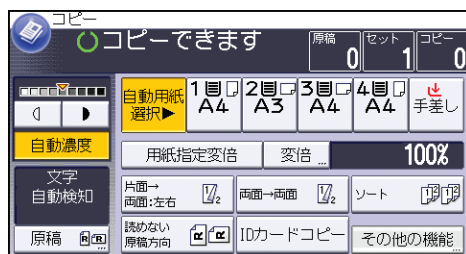
- **両面コピーとの組み合わせはできません。両面コピーが設定されているときは、［片面→両面：左右］を押して設定を解除してください。**

この機能では、▯の用紙の上半分と下半分、または▭の用紙の右半分と左半分に原稿の両面を片面ずつコピーします。たとえば、A4▯の用紙にコピーするときは、原稿のおもて面を A5▭サイズで読み取り、用紙の上半分にコピーします。原稿のうら面も同じように読み取り、用紙の下半分にコピーします。

原稿は原稿ガラスにセットし、読み取り範囲の中央に置いてコピーしてください。

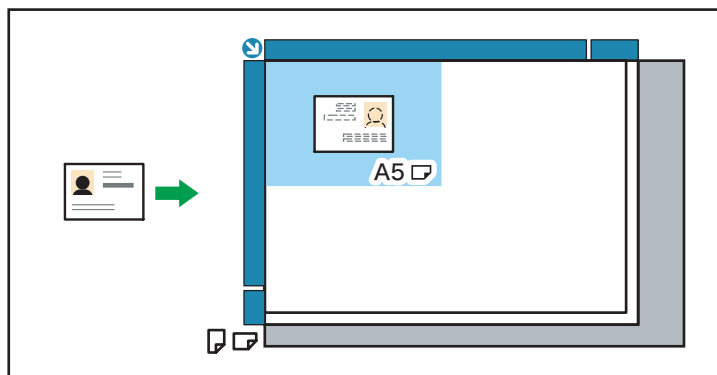
使用する用紙サイズは A4▯▭をお勧めします。

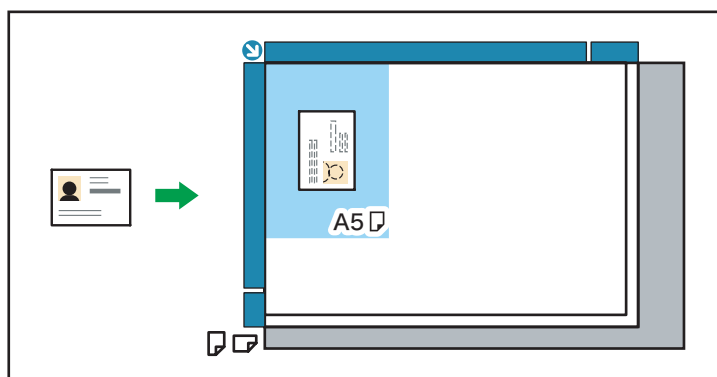
あらかじめ、［基本コピー設定］の［登録機能：コピー］で［ID カードコピー］を登録してください。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。

1. ［ID カードコピー］を押します。

2. 用紙を選択します。

3. 原稿のおもて面を下にして原稿ガラスにセットします。

A4▯の用紙にコピーするとき

原稿を▭にして、A5▭の読み取り範囲の中央にセットしてください。

A4▭の用紙にコピーするとき

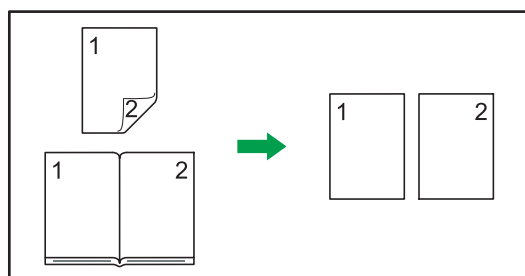
原稿を▯にして、A5▯の読み取り範囲の中央にセットしてください。

4. [スタート] キーを押します。

5. 原稿のうら面を下にして原稿ガラスにセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- 変倍率を設定したあとに [ID カードコピー] を押すと、設定した変倍率が取り消されます。

分割

見開き原稿の左右または両面原稿の表裏を 1 枚ずつコピーします。

CKN048

重要

- **自動原稿送り装置（ADF）からの見開き→片面機能は使用できません。**

見開き原稿と片面コピーの用紙サイズは次のとおりです。（等倍のとき）

原稿	用紙
A3	A4×2 枚
B4	B5×2 枚
A4	A5×2 枚

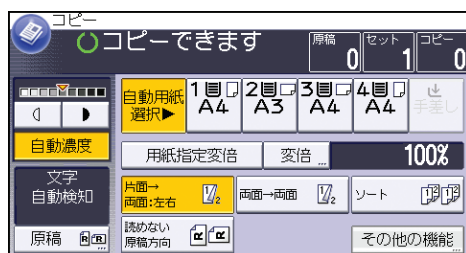
分割には、次の 2 種類があります。

両面→片面

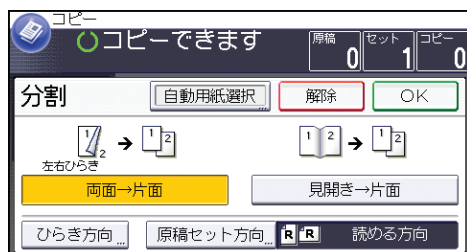
両面原稿の裏表を 1 枚ずつ用紙の片面にコピーします。

見開き→片面

見開き原稿の左右ページを 1 枚ずつ用紙の片面にコピーします。

1. ［その他の機能］を押します。

2. ［分割］を押します。

3. [両面→片面] または [見開き→片面] を選択します。

[原稿セット方向] を押すと、原稿の方向が読める方向か読めない方向かを設定できます。

4. [OK] を 2 回押します。

5. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- [両面→片面] を選択したときは、ひらき方向を設定できます。詳しくは、P.36「ひらき方向を変更する」を参照してください。

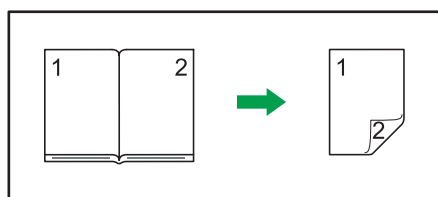
見開き両面

見開きの原稿を、用紙の両面にコピーします。

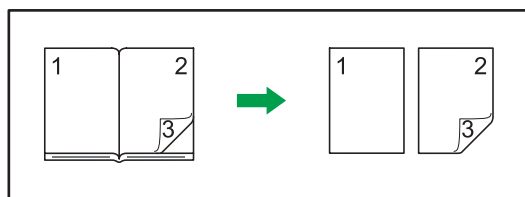
- **自動原稿送り装置（ADF）からの見開き両面機能は使用できません。**

見開き両面には、次の 2 種類があります。

見開き→両面

見開き原稿の左右ページを 1 枚ずつ用紙の両面にコピーします。

CKN051

見開き→両面（見開き）

本のような見開きの両面原稿を、原稿と同じ状態になるように用紙の両面にコピーします。

CKN052

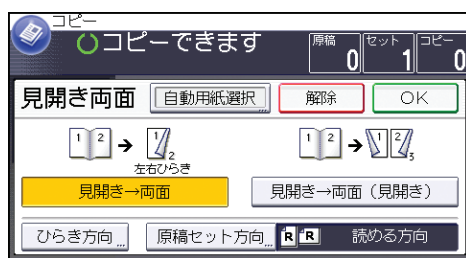
見開き原稿と両面コピーの用紙サイズは次のとおりです。（等倍のとき）

原稿	用紙
A3	A4両面
B4	B5両面
A4	A5両面

1. ［その他の機能］を押します。

2. ［見開き両面］を押します。

3. ［見開き→両面］または［見開き→両面（見開き)］を選択します。

［原稿セット方向］を押すと、原稿の方向が読める方向か読めない方向かを設定できます。

4. ［OK］を 2 回押します。

5. 用紙を選択します。

6. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

補足

- 異なるサイズ、方向の用紙を混ぜてコピーすることはできません。
- コピーのひらき方向を設定できます。詳しくは、P.36「ひらき方向を変更する」を参照してください。

ソート

1 セットずつページ順にそろえてコピーします。

重要

- **手差しコピーは回転ソートできません。**

使用しているモデルによっては、回転ソートをするのにオプションが必要です。必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

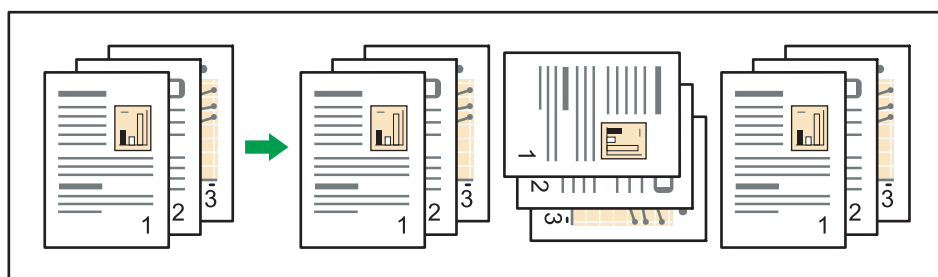
回転ソートをするには、サイズと種類が同じで方向（）の異なる用紙がセットされている給紙トレイが 2 段必要です。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

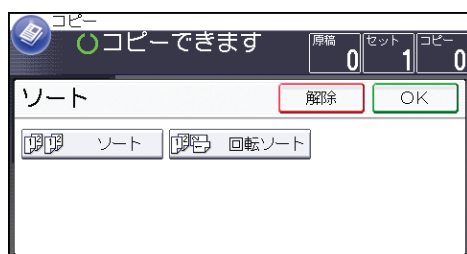
ソート

1 セットずつページ順にそろえてコピーします。

回転ソート

1 セットずつ異なる向き（）でコピーします。

2

1. ［その他の機能］を押します。

2. ［▼］を押します。
3. ［ソート］を押します。
4. ［ソート］または［回転ソート］を選択し、［OK］を 2 回押します。

5. テンキーでコピーする部数を入力します。
6. 原稿をセットします。
7. ［スタート］キーを押します。

補足

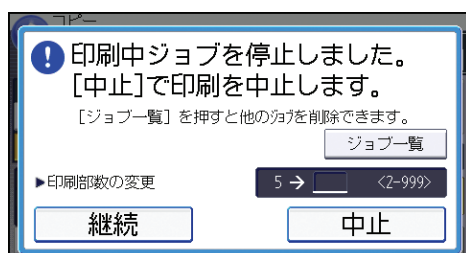
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、最初の 1 部が 1 枚ずつコピーされます。コピーが排出されるタイミングは、印刷の設定により異なります。すべての原稿の読み取り終了後に［#］キーを押すと、残りの部数が印刷されます。
- 回転ソートできる用紙サイズと方向は次のとおりです。
    - A4、A5、B5、$8^{1}/_{2}$×11、8×$10^{1}/_{2}$、8×10、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、16K
- 回転ソートを選択したとき、トレイに収容できる用紙の枚数が少なくなることがあります。
- 本体トレイに収容できる用紙の枚数は 250 枚です。本体上トレイに収容できる用紙の枚数については、『保守/仕様』「仕様一覧」を参照してください。
- ［周辺設定］の［ソート全数読み取り設定］や［回転ソート：回転給紙継続設定］で、ソート時の動作の設定を変更できます。詳しくは、P.89「周辺設定」を参照してください。

コピー部数を変更する

コピー中にコピー部数を変更します。

重要

- ソートを設定しているときだけ使用できる機能です。

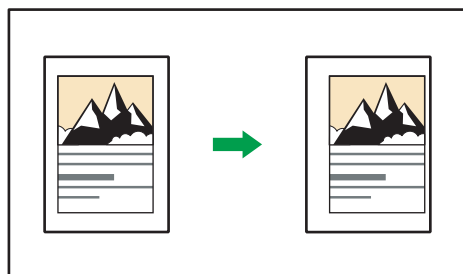
1. 「コピー中です」と表示されている間に［ストップ］キーを押します。
2. テンキーでコピーする部数を入力します。

3. ［継続］を押します。

   コピーが再開されます。

補足

- 入力できるコピー部数の範囲は［ストップ］キーを押すタイミングにより異なります。

とじしろ

用紙に余白を付けてコピーします。

工場出荷時は、おもて面の左側とうら面の右側に 5mm ずつとじしろが付くよう設定されています。設定は［基本編集設定］で変更できます。詳しくは、P.86「基本編集設定」を参照してください。

1. ［その他の機能］を押します。

2. ［▼］を押します。
3. ［とじしろ］が選択されていることを確認します。
4. ［OK］を押します。
5. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

- 集約コピーのときは、集約処理後の面にとじしろを入れてコピーされます。

コピー濃度を調整する

コピー濃度調整には、次の 3 種類があります。

自動濃度

新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

濃度調整

原稿全体の濃度を 9 段階で調整します。

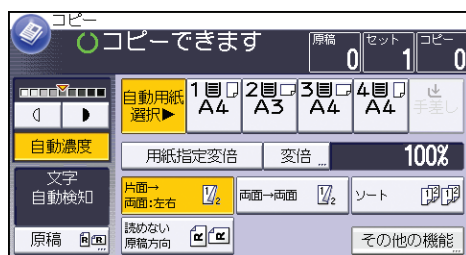
組み合わせ濃度調整

地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

自動濃度を選択する

新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようにコピーします。

1. [自動濃度] が選択されていることを確認します。

[自動濃度] が選択されていないときは [自動濃度] を押します。

2. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

補足

- 原稿の地肌が出るようにコピーするときは、[自動濃度] を押して選択を解除してください。

濃度を調整する

原稿全体の濃度を 9 段階で調整します。

1. ［自動濃度］が選択されているときは［自動濃度］を押して、設定を取り消します。

2. ［◖］［◗］を押して、濃度を調整します。

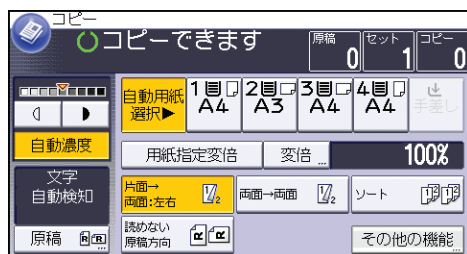
   濃度表示（▿）が移動します。

3. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

組み合わせて濃度を調整する

地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

1. ［自動濃度］が選択されていることを確認します。

   ［自動濃度］が選択されていないときは［自動濃度］を押します。

2. ［◖］［◗］を押して、濃度を調整します。

   濃度表示（▿）が移動します。

3. 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

画質を調整する

原稿の種類や希望の仕上がり状態によって、画像の状態を調整できます。

画質調整には次の 3 種類があります。

シャープ/ソフト

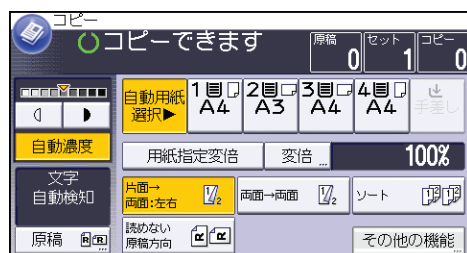
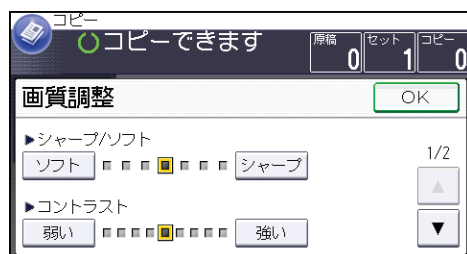
　画像の輪郭を調整します。

コントラスト

　画像の陰影を調整します。

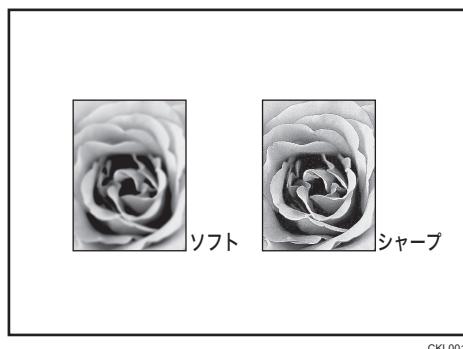
地肌調整

　画像の地肌を調整します。

1. [その他の機能] を押します。

2. [▼] を押します。
3. [画質調整] を押します。
4. 各機能を調整します。

5. [OK] を 2 回押します。
6. 原稿をセットし、[スタート] キーを押します。

- 「シャープ/ソフト」「コントラスト」「地肌調整」はそれぞれに調整できますが、調整レベルや色合いなどによって、ほかの調整機能のレベルに影響することがあります。
- オートクリアされたとき、[リセット] キーを押したとき、電源を切ったときは、調整した内容は取り消され、初期設定値に戻ります。

シャープ/ソフト

画像の輪郭を調整します。

CKL001

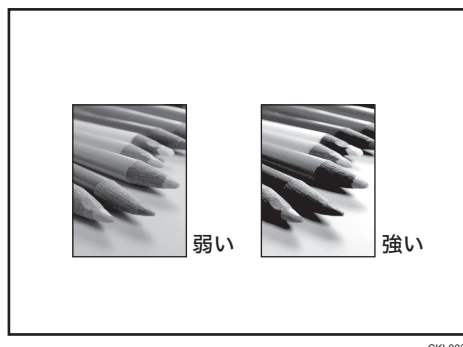
1. ［ソフト］または［シャープ］を押して調整します。

2. ［OK］を押します。

補足

- 画質を調整する手順については、P.55「画質を調整する」を参照してください。

コントラスト

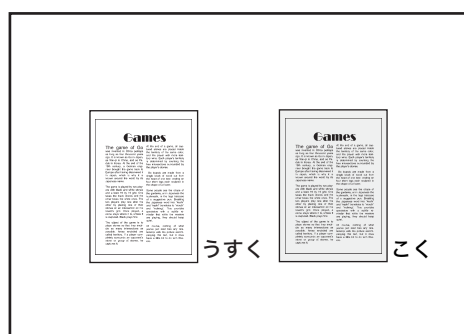
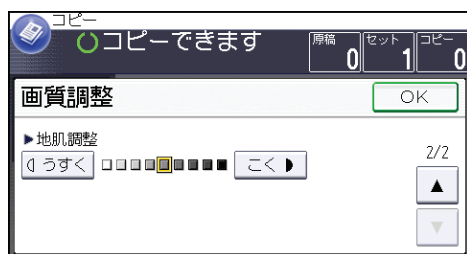
画像の陰影を調整します。

CKL002

1. [弱い] または [強い] を押して調整します。

2. [OK] を押します。

- 画質を調整する手順については、P.55「画質を調整する」を参照してください。

地肌調整

画像の地肌の濃度を調整します。

1. [うすく] または [こく] を押して調整します。

2. [OK] を押します。

- 次の原稿をコピーするときは、薄めに調整します。
    - 新聞紙や再生紙など地肌の濃い原稿

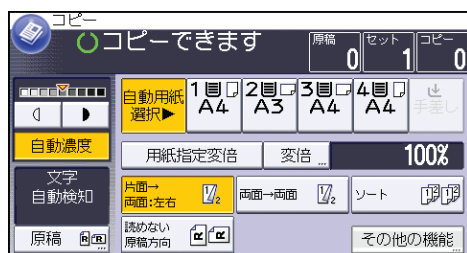
- 切り張り原稿
    - 折り目の付いた原稿
    - しわの多い原稿
- 画質を調整する手順については、P.55「画質を調整する」を参照してください。

ドキュメントボックスに原稿を蓄積する

コピー機能で読み取った文書を本機のハードディスクに蓄積できます。

蓄積された文書は、ドキュメントボックス機能画面で確認できます。ドキュメントボックスの詳細については、P.62「文書を蓄積する」を参照してください。

ドキュメントボックスを使用するにはオプションが必要です。必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

1. [その他の機能] を押します。

2. [▼] を押します。
3. [文書蓄積] を押します。
4. 必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードを設定します。
5. [OK] を 2 回押します。
6. 原稿をセットします。
7. コピー機能を設定します。
8. [スタート] キーを押します。

   コピーが出力され、ハードディスクに文書が蓄積されます。次の文書を蓄積するときは、コピーが終了してから操作します。

補足

- 読み取りを中断するときは [ストップ] キーを押します。表示された確認画面で [継続] を押すと読み取りが再開され、[中止] を押すと読み取り済みの画像が消去されて自動原稿送り装置（ADF）の原稿は排出されます。[ジョブ一覧] を押すと、ジョブ一覧画面が表示されます。ジョブ一覧画面については、『便利な機能』「ジョブを管理する画面の種類」を参照してください。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、すべての原稿の読み取りを終えたら [#] キーを押します。
- 蓄積された文書を呼び出して印刷するときは、P.70「蓄積した文書を印刷する」を参照してください。
- ユーザー名、文書名、パスワードの設定のしかたは、P.65「蓄積した文書の文書情報を変更する」を参照してください。

3. ドキュメントボックス機能

ドキュメントボックスを使用すると、文書を本機のハードディスクに蓄積しておき、あとから必要な条件で印刷できます。

ドキュメントボックスを使用するにはオプションが必要です。必要なオプションについては、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

各機能とドキュメントボックスの関係

使用する機能によって、ドキュメントボックスの状態が変わります。

	蓄積方法	一覧表示	印刷	送信
コピー機能	コピー・ドキュメントボックス	表示される	可	不可
プリンター機能	パソコン	表示される	可	不可
ファクス機能	ファクス	表示される	可	可*1
スキャナー機能	スキャナー	表示されない*2	不可	可*3

*1 ファクス機能を使用して、蓄積した文書を送信します。詳しくは、『ファクス』「蓄積した文書を送信する」を参照してください。

*2 スキャナー機能から蓄積した文書はスキャナー機能画面で確認できます。詳しくは、『スキャナー』「一覧画面から蓄積文書を確認する」を参照してください。

*3 スキャナー機能を使用して、蓄積した文書を送信します。詳しくは、『スキャナー』「蓄積文書を送信する」を参照してください。

文書を蓄積する

ドキュメントボックスに文書を蓄積します。

重要

- 正しいパスワードを入力して選択した文書は、操作後も選択が維持されるため、パスワードを知らなくても操作できてしまいます。操作後は必ず［リセット］キーを押して、文書の選択を解除してください。
- ドキュメントボックスに蓄積した文書に登録するユーザー名は、文書の作成者や性質を区別するためのものです。機密文書保護として有効ではありません。
- ファクス送信またはスキャナーで原稿を読み取るときは、すべての動作が完了したことを確認してください。

文書名

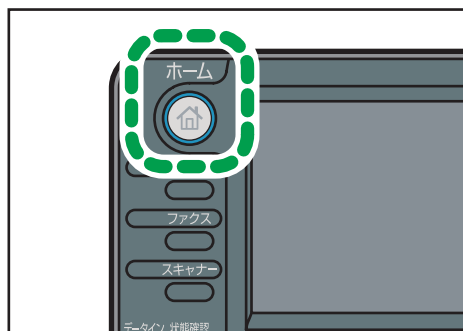
読み取った文書には「COPY0001」「COPY0002」と文書名が自動的に付けられます。文書名は変更できます。

ユーザー名

蓄積した人や部門がわかるようにユーザー名を設定できます。ユーザー名にはアドレス帳に登録した名前を指定する方法と、名称を入力して設定する方法があります。セキュリティーの設定によっては、［ユーザー名］が［アクセス権］と表示されることがあります。アドレス帳については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

パスワード

蓄積する文書にはパスワードを設定できます。パスワードを設定した文書を印刷するときは、パスワードを入力するため、不特定の人に印刷されません。パスワードが設定されている文書には、カギマークが表示されます。

1. 操作部左上の［ホーム］キーを押して、ホーム画面上の［ドキュメントボックス］アイコンを押します。

CSP002

2. ［読取り画面へ］を押します。
3. ［ユーザー名］を押します。

4. ユーザー名を設定し、[OK]を押します。

一覧に表示されていない名称を設定するときは、[登録外文字列]を押してユーザー名を直接入力します。

5. [文書名]を押します。

6. 文書名を入力し、[OK]を押します。

7. [パスワード]を押します。

8. テンキーでパスワードを入力し、[OK]を押します。

パスワードは4桁から8桁まで指定できます。

9. 確認用にもう一度テンキーでパスワードを入力し、[OK]を押します。

10. 原稿をセットします。

11. 原稿の読み取り条件を設定します。

12. [スタート]キーを押します。

原稿が読み取られます。ドキュメントボックスに文書が保存されます。

原稿の読み取りが終了すると一覧が表示されます。一覧が表示されないときは、[読み取り終了]を押します。

補足

- ドキュメントボックス初期画面に表示されるキーの機能については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能の画面の見かた」を参照してください。
- 読み取りを中断するときは[ストップ]キーを押します。表示された確認画面で[継続]を押すと読み取りが再開され、[読み取り中止]を押すと読み取り済みの画像が消去されて自動原稿送り装置(ADF)の原稿は排出されます。[ジョブ一覧]を押すと、ジョブ一覧画面が表示されます。ジョブ一覧画面については、『便利な機能』「ジョブを管理する画面の種類」を参照してください。
- ユーザー名、文書名、パスワードの設定は省略できます。文書名を変更しないときは、自動で文書名が設定されます。
- 文書名は全角10文字、半角20文字まで入力できますが、一覧で表示される文書名は全角9文字、半角18文字までです。文字数を超えると、文書名は全角8文字、半角17文字までしか表示されません。
- 自動検知されないサイズの文書を自動原稿送り装置(ADF)で読み取ったとき、読み取った文書とは異なる用紙サイズで蓄積されます。
- 工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから3日(72時間)後に消去されます。[管理者用設定]の[ドキュメントボックス蓄積文書自動消去]で、文書の自動消去をしない、あるいは一定日数経過後に自動的に消去するように設定を変更できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。

- 自動的に削除したくない文書をドキュメントボックスに蓄積するときは、[管理者用設定]の[ドキュメントボックス蓄積文書自動消去]の設定を[しない]にしてから文書を蓄積してください。そのあとで[ドキュメントボックス蓄積文書自動消去]を[する]に設定すると、設定後に蓄積した文書は自動的に削除されます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。
- 蓄積した文書にアクセス権を設定できます。詳しくは、P.76「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。

蓄積した文書の文書情報を変更する

ドキュメントボックスに蓄積した文書のユーザー名、文書名、パスワードを変更します。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行]を押します。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。

ユーザー名を変更する

蓄積した文書のユーザー名を変更します。

1. ユーザー名を変更する文書を選択します。

2. [確認/変更]を押します。
3. [文書情報変更]を押します。
4. [ユーザー名]を押します。
5. 変更画面で新しいユーザー名を設定して、[OK]を押します。
6. [OK]を2回押します。

文書名を変更する

蓄積した文書の文書名を変更します。

1. 文書名を変更する文書を選択します。

2. [確認/変更] を押します。
3. [文書情報変更] を押します。
4. [文書名] を押します。
5. 変更画面で新しい文書名を入力して、[OK] を押します。
6. [OK] を 2 回押します。

パスワードを変更する

蓄積した文書のパスワードを変更します。

1. パスワードを変更する文書を選択します。

2. [確認/変更] を押します。
3. [文書情報変更] を押します。
4. [パスワード変更] を押します。
5. 変更画面で新しいパスワードを入力して、[OK] を押します。
6. 確認用にもう一度パスワードを入力して、[OK] を押します。
7. [OK] を 2 回押します。

蓄積した文書の詳細を表示する

ドキュメントボックスに蓄積した文書の詳細を表示して確認します。

1. 詳細を表示する文書を選択します。

2. ［確認/変更］を押します。

3. ［詳細確認］を押します。

   ［閉じる］を押してから［OK］を押すと、文書選択画面に戻ります。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、［実行］を押します。
- 複数の文書を選択しているときは［前の文書］、［次の文書］で順番に文書の情報を確認できます。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- プレビュー画面で蓄積した文書の内容を確認できます。プレビュー画面については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能のプレビュー画面の見かた」を参照してください。

蓄積した文書を検索する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を、文書名またはユーザー名で検索します。

文書名で検索する

蓄積した文書を文書名から検索します。

ユーザー名で検索する

蓄積した文書をユーザー名から検索します。

3

補足

- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積された文書を検索、並び替えできます。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 文字の入力方法は、『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」を参照してください。

文書名で検索する

蓄積した文書を文書名から検索します。先頭文字から完全一致する文書名を検索し、文書選択の画面に表示します。

1. ［検索］を押します。

2. ［文書名］を押します。
3. 検索する文書名を入力し、［OK］を押します。

補足

- 検索結果画面で［OK］を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

ユーザー名で検索する

蓄積した文書をユーザー名から検索します。先頭文字から完全一致するユーザー名を検索し、文書選択の画面に表示します。

1. [検索] を押します。

2. [ユーザー名] を押します。
3. 登録されているユーザー名を指定するときは、ユーザー名を選択します。

   ユーザー名を選択したあと、手順 6 に進みます。

4. ユーザー名が登録されていないときは、[登録外文字列] を押し、入力画面でユーザー名を入力します。
5. [OK] を押します。
6. [OK] を押します。

補足

- 検索結果画面で [OK] を押すと、蓄積されているすべての文書が表示されます。

3

蓄積した文書を印刷する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を印刷します。

印刷画面で設定できる項目は次のとおりです。

- 用紙選択
- 出力部数
- 両面印刷：左右ひらき、両面印刷：上下ひらき
- ソート、回転ソート
- とじしろ

各機能の詳細については、それぞれの項目を参照してください。

1. **印刷する文書を選択します。**

2. **複数の文書をまとめて印刷するときは、印刷する順に手順 1 の操作を繰り返します。**

   30 文書まで指定できます。

3. **印刷条件を設定するときは、［印刷画面へ］を押して条件を設定します。**

4. **印刷部数をテンキーで入力します。**

   999 部まで指定できます。

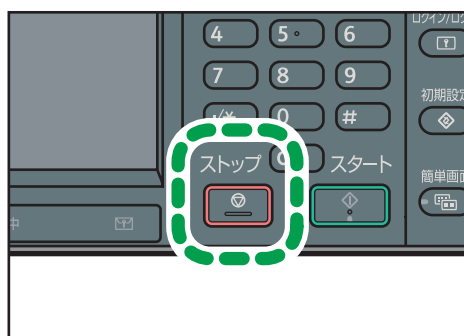
5. **［スタート］キーを押します。**

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、［実行］を押します。
- 文書の選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- ［リセット］キーを押すと、選択した文書がすべて解除されます。
- ［印刷順］を押すと選択した文書が印刷順に並んで表示されます。
- ［文書一覧へ戻る］を押すと文書選択の画面に戻ります。
- 目的の文書を検索できます。検索のしかたについては、P.68「蓄積した文書を検索する」を参照してください。

- ［選択文書確認］を押すと選択した文書のユーザー名、文書名、印刷順を確認できます。
- コピー、プリンター機能では、設定した印刷条件が印刷終了後も記憶され、次の印刷時に適用されます。ファクス機能では、印刷条件は記憶されません。
- 複数の文書を選択したとき、最初の文書には印刷条件が記憶されますが、最初の文書以外の文書には印刷条件が記憶されません。
- 複数の文書を一度に印刷するときは、最初に印刷される文書の印刷条件がすべての文書に適用されます。
- 複数の文書を選択したとき、サイズや解像度が異なっていると印刷できないことがあります。
- ［基本コピー設定］の［コピーセット枚数制限設定］で、セットできる印刷枚数の上限を変更できます。詳しくは、P.81「基本コピー設定」を参照してください。
- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を印刷できます。Web Image Monitor の立ち上げかたについては、P.74「蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

印刷を中止する

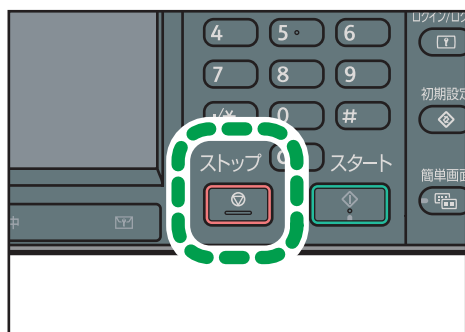
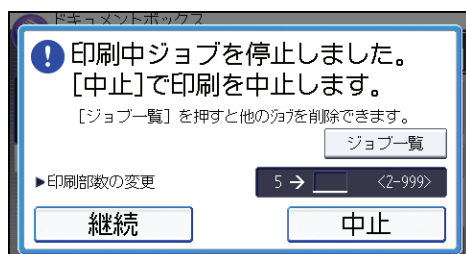
1. 印刷中に［ストップ］キーを押します。

2. ［中止］を押します。

印刷部数を変更する

印刷を開始してから、印刷部数を変更します。

重要

- 印刷条件で、ソート機能を選択しているときに有効です。

1. 印刷中に［ストップ］キーを押します。

2. テンキーで新たに印刷部数を入力します。

3. ［継続］を押します。

印刷が再開します。

補足

- 入力できるコピー部数の範囲は、［ストップ］キーを押すタイミングにより異なります。

蓄積した文書を消去する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去します。

重要

- ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 3000 件です。蓄積されている文書が 3000 件に達すると、新しい文書が蓄積されなくなるので、不要になった文書はできるだけ削除してください。

1. 消去する文書を選択します。

複数の文書を選択できます。

2. ［文書消去］を押します。

3. ［消去する］を押します。

補足

- 蓄積した文書にパスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、［実行］を押します。
- 選択を取りやめるときは、反転表示されている文書をもう一度押します。
- 目的の文書を検索できます。検索方法は P.68「蓄積した文書を検索する」を参照してください。
- プレビュー画面で蓄積した文書の内容を確認できます。プレビュー画面については、『本機のご利用にあたって』「ドキュメントボックス機能のプレビュー画面の見かた」を参照してください。
- 蓄積されている文書を、［管理者用設定］の［ドキュメントボックス蓄積文書一括消去］で一括して削除できます。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「管理者用設定」を参照してください。
- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスの文書を削除できます。Web Image Monitor の立ち上げかたについては、P.74「蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する」を参照してください。

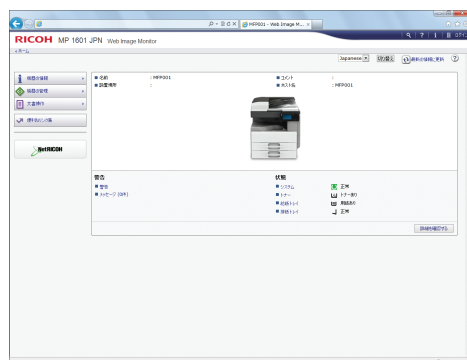
蓄積した文書を Web Image Monitor で表示する

Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積した文書の内容をパソコンの画面で確認します。

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **アドレスに「http://（本機の IPv4 アドレス、IPv6 アドレスまたはホスト名）/」と入力します。**

   IPv4 アドレスを入力するとき、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば「192.168.001.010」のときは、「192.168.1.10」と入力します。

   「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

   Web Image Monitor のトップページが表示されます。

3. **［文書操作］をポイントし、［ドキュメントボックス］をクリックします。**
4. **確認する文書の（詳細情報）アイコンをクリックします。**
5. **文書の内容を確認します。**

   大きく表示するときは、［拡大表示］をクリックします。

補足

- 文書の一覧は表示形式を変更できます。（サムネール表示）、（アイコン表示）、（詳細表示）から選択してください。

蓄積した文書を Web Image Monitor でダウンロードする

Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスに蓄積した文書のデータをパソコンにダウンロードします。

重要

- コピー（ドキュメントボックス）、プリンター機能で蓄積した文書のダウンロードは拡張データ変換ボードが必要です。

1. Web ブラウザーを起動します。

2. アドレスに「http://（本機の IPv4 アドレス、IPv6 アドレスまたはホスト名）/」と入力します。

IPv4 アドレスを入力するとき、各セグメントの先頭に付く「0」は入力しないでください。たとえば「192.168.001.010」のときは、「192.168.1.10」と入力します。

「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

3. ［文書操作］をポイントし、［ドキュメントボックス］をクリックします。

4. ダウンロードする文書の（詳細情報）アイコンをクリックします。

5. ファイル形式を選択し、［ダウンロード］をクリックします。

6. ［OK］をクリックします。

補足

- 文書の一覧は表示形式を変更できます。（サムネール表示）、（アイコン表示）、（詳細表示）から選択してください。
- ［JPEG］は、スキャナー機能を使用してフルカラーまたはグレースケールで読み取り、圧縮した文書で選択できます。
- Internet Explorer 8 を使用しているとき、ダウンロードに時間がかかることがあります。本機の URL を［インターネットオプション］から信頼済みサイトとして登録し、サイトの SmartScreen フィルター機能を無効にしてください。Internet Explorer 8 の設定については、Internet Explorer 8 のヘルプを参照してください。

蓄積した文書にアクセス権を設定する

本機に蓄積した文書は、蓄積したユーザーがアクセス権限を持っています。そのユーザーを文書作成者（オーナー）と呼びます。オーナーは、作成した文書に対するほかのユーザーのアクセス権を設定・変更できます。

オーナー以外のユーザーは、アクセス権がある文書だけが表示されます。

アクセス権を変更できるのはオーナーと管理者です。

アクセス権の種類

アクセス権は 4 種類あり、権限によってできることが制限されます。

アクセス権	内容
閲覧	蓄積した文書の内容や情報を確認でき、印刷や送信もできます。
編集	蓄積した文書の印刷条件を変更できます。 閲覧のアクセス権を含みます。
編集/削除	蓄積した文書を消去できます。 閲覧、編集のアクセス権を含みます。
フルコントロール	蓄積した文書にユーザーとアクセス権を設定できます。 閲覧、編集、編集/削除のアクセス権を含みます。

文書パスワード

オーナーは、蓄積した文書にパスワードを設定できます。文書の不正利用に対する安全性をより強化できます。

ユーザー認証が設定されていなくても、文書にパスワードを設定できます。

文書パスワードの設定方法は、P.66「パスワードを変更する」を参照してください。

補足

- プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。詳しくは、『プリンター』「保存文書にアクセス権を設定する」を参照してください。
- オーナーのアクセス権の初期値は、［閲覧］です。また、アクセス権も設定できます。

蓄積した文書のユーザーとアクセス権を設定する

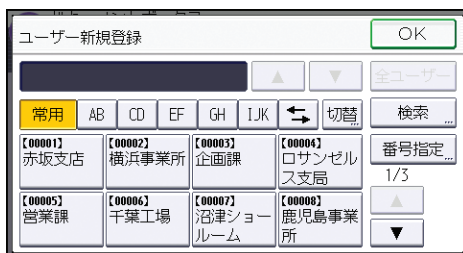
オーナーが設定します。

文書を使用できるユーザーと、それぞれのユーザーのアクセス権を文書ごとに設定します。この設定により、アクセス権を設定されたユーザーだけが文書を使用できます。

重要

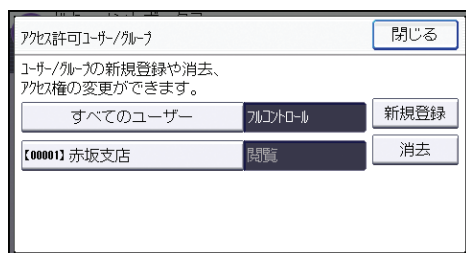
- 文書へアクセスできなくなったときは、オーナーが該当する文書のアクセス権を再設定してください。アクセス権限のない文書にアクセスするときは、オーナーに確認してください。
- 文書のオーナー、およびフルコントロール権限を持つほかのユーザーは、その文書の［アクセス権変更］でオーナー、およびほかのユーザーのアクセス権を変更できます。

1. アクセス権を設定する文書を選択します。

2. ［確認/変更］を押します。
3. ［文書情報変更］を押します。
4. ［アクセス権変更］を押します。
5. ［登録/変更/消去］を押します。
6. ［新規登録］を押します。
7. 登録するユーザーを選択します。

複数のユーザーを選択できます。

［全ユーザー］を押すと、すべてのユーザーを選択できます。

8. ［OK］を押します。

9. アクセス権を設定するユーザーを選択し、アクセス権を選択します。

アクセス権は、［閲覧］、［編集］、［編集/削除］、［フルコントロール］のいずれかを選択します。

10. ［OK］を押します。

11. ［閉じる］を押します。

12. ［OK］を 3 回押します。

補足

- 本機を安全に使用するためには、認証ユーザーにも［編集］、［編集/削除］、［フルコントロール］の権限を与えない制限を設けて運用することをお勧めします。
- アクセス権については、P.76「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。

特定ユーザーの蓄積文書へのアクセス権を事前に設定する

オーナーが設定します。

特定のユーザーが蓄積した文書を使用できるユーザーと、それぞれのユーザーのアクセス権を設定します。

この設定により、アクセス権を設定されたユーザーだけが文書を使用できます。蓄積した文書ごとにアクセス権を設定するときと比較し、アクセス権の管理が容易です。

1. ［初期設定］キーを押します。

2. [アドレス帳管理]を押します。
3. [変更]を押します。
4. [全て表示]を押します。
5. ユーザーを選択します。
6. [認証保護]を押します。
7. [文書保護]を押します。
8. [アクセス許可ユーザー/グループ：登録/変更/消去]を押します。
9. [新規登録]を押します。
10. 登録するユーザーを選択します。

複数のユーザーを選択できます。

[全ユーザー]を押すと、すべてのユーザーを選択できます。

11. [OK]を押します。
12. アクセス権を設定するユーザーを選択し、アクセス権を選択します。

アクセス権は、[閲覧]、[編集]、[編集/削除]、[フルコントロール]のいずれかを選択します。

13. [OK]を押します。
14. [閉じる]を 3 回押します。
15. [設定]を押します。
16. [初期設定]キーを押します。

補足

- アクセス権については、P.76「蓄積した文書にアクセス権を設定する」を参照してください。

4. コピー/ドキュメントボックス初期設定

本機にある［コピー/ドキュメントボックス初期設定］の各種項目について説明します。

基本コピー設定

［コピー/ドキュメントボックス初期設定］にある［基本コピー設定］の各種項目について説明します。

自動濃度優先

電源を入れた直後、オートクリアされたとき、リセットしたときに、自動濃度が設定されるようにするかしないかを設定します。

- 原稿種類で［写真］を選択した場合
    - する
    - しない

    工場出荷時の設定：**しない**
- 原稿種類で［写真］以外を選択した場合
    - する
    - しない

    工場出荷時の設定：**する**

優先写真原稿種類（文字・写真）

原稿種類で［文字・写真］を選択したときの原稿の種類を設定します。

- 印画紙写真
- 印刷写真
- 複写写真

工場出荷時の設定：**印刷写真**

優先写真原稿種類（写真）

原稿種類で［写真］を選択したときの原稿の種類を設定します。

- 印画紙写真
- 印刷写真
- 複写写真

工場出荷時の設定：**印刷写真**

用紙種類省略表示

コピー初期画面の用紙種類表示を省略するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

［する］に設定したときは、次のように表示されます。

［自動用紙選択］を押して選択を解除すると、用紙種類が表示されます。

両面原稿ひらき方向設定

両面原稿をコピーするときの、原稿のひらき方向を設定します。

- 左右ひらき
- 上下ひらき

工場出荷時の設定：**左右ひらき**

両面コピーひらき方向設定

両面コピーするときの、コピーのひらき方向を設定します。

- 左右ひらき
- 上下ひらき

工場出荷時の設定：**左右ひらき**

コピーセット枚数制限設定

セットできるコピー枚数の上限を設定します。

1〜999 枚（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**999 枚**

リミットレス給紙

コピー中に用紙がなくなったとき、同じサイズの用紙がほかの給紙トレイにセットされていれば、用紙方向にかかわらず自動的にその給紙トレイから続けて給紙できます（自動用紙選択時）。この動作を「リミットレス給紙」といいます。リミットレス給紙をするかしないかを設定します。

- 回転可能で動作

  リミットレス給紙を使用してコピーします。

  動作している機能によっては、回転しないことがあります。

- 回転不可で動作

同じサイズで同じ方向の用紙がセットされているときだけ、継続してコピーします。同じサイズで同じ方向の用紙がないときは、用紙を補給するようメッセージが表示されコピーは中断されます。

- しない

  用紙がなくなると、用紙を補給するようメッセージが表示されコピーは中断されます。

工場出荷時の設定：**回転可能で動作**

原稿忘れブザー音

原稿の取り忘れを警告するブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：ON

［システム初期設定］の［ブザー音］を［OFF］に設定すると、この機能を［ON］に設定しても無効になります。

ジョブ終了お知らせ

コピーが終了したときにブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

［システム初期設定］の［ブザー音］でブザーの音量を設定すると、給紙トレイに用紙がなくなった、用紙がつまったなどの理由でコピーが中断したときに「ピーピーピーピーピーピー」というブザー音が 4 回鳴り、コピーが終了しなかったことをお知らせします。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：ON

手差し選択時の用紙設定画面表示

［手差し］を押したときに、用紙サイズや種類の設定画面を毎回表示するかどうかを選択できます。

［自動表示する］に設定すると、［手差し］を押したときに用紙設定画面を表示します。［自動表示しない］に設定すると、［手差し］を押してから［**#**］キーを押したときに用紙設定画面を表示します。

- 自動表示する
- 自動表示しない

工場出荷時の設定：**自動表示する**

登録機能：コピー

頻繁に使用する機能を、5 つまで登録機能キーに登録できます。

- 設定しない
- 片面→両面：左右

- 片面→両面：上下
- 両面→両面
- 両面：左右→片面
- 両面：上下→片面
- 片面→2 枚ごと集約
- 片面→4 枚ごと集約
- 片面→両面集約 4 枚左右ひらき
- 片面→両面集約 4 枚上下ひらき
- 両面：左右→集約 2 ページ
- 両面：上下→集約 2 ページ
- 両面：左右→集約 4 ページ
- 両面：上下→集約 4 ページ
- すこし小さめ
- 読めない原稿方向
- 大量原稿
- ソート
- 回転ソート
- ID カードコピー

工場出荷時の設定：

- 登録機能 1：**片面→両面：左右**
- 登録機能 2：**両面→両面**
- 登録機能 3：**ソート**
- 登録機能 4：**読めない原稿方向**
- 登録機能 5：**設定しない**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

変倍率設定

［コピー/ドキュメントボックス初期設定］にある［変倍率設定］の各種項目について説明します。

変倍率設定

コピー初期画面で［変倍］を押したときに表示される変倍率を設定します。

- 71%（A3→A4，B4→B5）
- 82%（B4→A4，B5→A5）
- 93%
- 115%（B4→A3，B5→A4）
- 122%（A4→B4，A5→B5）
- 141%（A4→A3，B5→B4）
- 任意倍率

任意倍率は25～400%の範囲で数値をテンキーで入力します。

優先変倍率設定

コピー初期画面で［変倍］を押したときに優先される変倍率を設定します。

- 71%（A3→A4，B4→B5）
- 82%（B4→A4，B5→A5）
- 93%
- 115%（B4→A3，B5→A4）
- 122%（A4→B4，A5→B5）
- 141%（A4→A3，B5→B4）

工場出荷時の設定：**71%（A3→A4，B4→B5）**

変倍率：［変倍率設定］で各変倍率を設定しているときはその数値になります。

すこし小さめ変倍率設定

登録機能キーに［すこし小さめ］を登録するときの変倍率を設定します。

90～99%（1%単位）の範囲で変倍率をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**93%**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

4

基本編集設定

［コピー/ドキュメントボックス初期設定］にある［基本編集設定］の各種項目について説明します。

とじしろ幅は 0〜30mm（1mm 単位）の範囲で数値をテンキーで入力します。設定したとじしろ幅が大きすぎると画像が欠けてコピーされることがあります。

左右とじしろ幅設定（おもて面）

おもて面の左右とじしろ幅を設定します。

- 左
- 右

工場出荷時の設定：**左**：5mm

左右とじしろ幅設定（うら面）

うら面の左右とじしろ幅を設定します。

- 左
- 右

工場出荷時の設定：**右**：5mm

上下とじしろ幅設定（おもて面）

おもて面の上下とじしろ幅を設定します。

- 上
- 下

工場出荷時の設定：**上**：0mm

上下とじしろ幅設定（うら面）

うら面の上下とじしろ幅を設定します。

- 上
- 下

工場出荷時の設定：**上**：0mm

片面→両面時裏面左右とじしろ

片面→両面コピーするときの裏面とじしろ幅を設定します。

- 左
- 右

工場出荷時の設定：**右**：5mm

片面→両面時裏面上下とじしろ

片面→両面コピーするときの裏面とじしろ幅を設定します。

- 上

- 下

工場出荷時の設定：**上：0mm**

集約コピー時枠消去

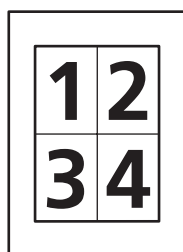
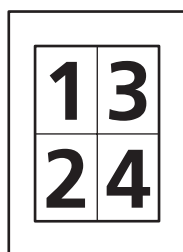
集約コピーをするとき、原稿の周辺3mmを消去するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

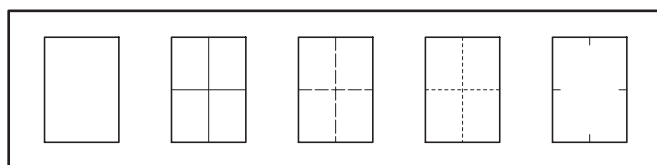
集約時並び順

集約コピーのコピーするときの画像の並び順を設定します。

- ［左右方向］を選択したとき

- ［上下方向］を選択したとき

  - 左右方向
  - 上下方向

工場出荷時の設定：**左右方向**

集約コピー：仕切り線種類

集約コピーの仕切り線の種類を設定します。

- 仕切線なし
- 実線
- 破線 A
- 破線 B
- 補助線

工場出荷時の設定：**仕切線なし**

実線または破線の仕切り線を指定したときは、仕切り線の幅として約 1.5mm 画像が欠けることがあります。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

4

周辺設定

［コピー/ドキュメントボックス初期設定］にある［周辺設定］の各種項目について説明します。

回転ソート：回転給紙継続設定

回転ソート中に給紙トレイの用紙がなくなったときに、コピーを継続するかしないかを設定します。

- する

  他方向の用紙サイズに回転して出力を継続し、機械から離れていてもコピーは仕上がります。

- しない

  コピーは中断し、用紙補給のメッセージが表示されます。用紙を補給することでコピーを継続します。

工場出荷時の設定：**しない**

ソート全数読み取り設定

原稿の読み取りの途中でメモリーがいっぱいになったとき、読み取った原稿だけをコピーしたあと、残りの原稿の読み取りを自動的に継続するかしないかを設定します。

- する

  機械から離れていてもコピーは仕上がりますが、ページが分かれてソートされてしまいます。

- しない

  メモリーがいっぱいになると、機械がいったん停止するので、分割されるたびに排紙トレイのコピーを取り除けます。

工場出荷時の設定：**しない**

レターヘッド紙使用設定

レターヘッド紙を使用するかしないかを設定します。

- 使用する
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

［使用する］に設定すると回転コピーしなくなります。

レターヘッド紙については、『用紙の仕様とセット方法』「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。

大量原稿モード切り替え

［原稿］を押したときに、［大量原稿］を表示させるか、［SADF］を表示させるかを設定できます。

- 大量原稿

- SADF

工場出荷時の設定：**大量原稿**

SADF オートリセット時間設定

SADF のとき、設定した時間が過ぎると、次の原稿をセットしても自動的に送られません。この時間を設定します。

3～99 秒（1 秒単位）の範囲で時間をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**5 秒**

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。

4

管理者用設定

［コピー/ドキュメントボックス初期設定］にある［管理者用設定］の項目について説明します。

管理者用設定は、管理者が設定する項目です。設定内容や設定を変更するときは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

管理者認証を設定して使用することをお勧めします。

メニュープロテクト設定

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。

補足

- 初期設定の変更方法は、『ネットワークの接続/システム初期設定』「初期設定を変更する」を参照してください。